

2026 年度 市民講座報告書

大阪産業大学

2026 年度 市民講座報告書

目 次

1. 概要

(1) 2026 年度市民講座 講座内容	2
(2) 2026 年度市民講座 参加状況	4

2. アンケート結果

[国際学部] <欧米の言語や文化に親しむ>

(1) 洋楽の楽しみ方 ―英語のリズムと韻―	ダニエル テューバー 准教授	6
(2) 「教養」という思想 ―ゲーテ『ヴィルヘルム・マイスターの修業時代』を読む―	山本鉄平 講師	9

[経営学部] <人を活かす経営を探る ―理論の原点から中小企業の実践まで―>

(1) 始まりの経営学から考える人のマネジメント	堀上明 教授	12
(2) 中小企業における人的資本経営	田中宏昌 教授	15

[経済学部]

<社会思想史の観点より、戦前から戦後にかけての知識人らの言動などについて考察します。>

(1) 「近代の超克」座談会をめぐって	渡辺恭彦 准教授	18
(2) 戦後知識人の社会参加 ―60 年安保闘争から大学闘争へ―	渡辺恭彦 准教授	21

[スポーツ健康学部]

(1) 足が速い人は“ある筋肉”が大きい！？	仲田秀臣 教授	24
------------------------	---------	----

[全学教育機構]

(1) さわれる宇宙	大村知美 准教授	27
------------	----------	----

[建築・環境デザイン学部]

(1) 大東市の自然災害と、私たちの防災	小田和広 教授	30
(2) デザインツールと空間の変遷について	疋田訓之 教授	33

[システム工学部] <ものづくりを支えるシステム工学>

(1) 身の回りのセンサと AI を組み合わせるとこんなことが分かります。	熊澤宏之 教授	36
(2) レーザーが生み出す未来のものづくり ―私たちの生活を変える微細加工技術―	草場光博 教授	39

[情報デザイン学部]

(1) レーザーカッター・3D プリンターで広がるデジタルものづくりの世界	藤本雄紀 講師	42
---------------------------------------	---------	----

2026年度 市民講座 受講生募集 5月・6月

大阪産業大学市民講座開講

国際学部

欧米の言語や文化に親しむ

経営学部

人を活かす経営を探る
—理論の原点から中小企業の実践まで—

経済学部

今年度は、社会思想史の観点より、戦前から戦後にかけての知識人らの言動などについて考察します。

システム工学部

ものづくりを支える
システム工学

近年進歩の著しいセンサ+AI技術、レーザーを活用した材料表面加工技術など、最先端のものづくりを支える技術についてわかりやすく解説します。

スポーツ健康学部

全学教育機構

建築・環境デザイン学部

情報デザイン学部

日程 **5月9日～6月20日** 毎週土曜日 全13回

時間 〈第1回目〉9:45～10:45 〈第2回目〉11:00～12:00
〈受付開始時間:各講座15分前～〉 ※ただし6/20は第1回のみ

会場 本館3階 0302教室(会場までは、本館エレベーターをご利用ください)

対象 どなたでも受講していただけます

受講料 無料

主催 大阪産業大学

後援 大東市、大東商工会議所



JR住道駅から大学専用シャトルバスがご利用いただけます。

お車でのご来校はご遠慮いただきますようお願いいたします。

住道駅前大学専用シャトルバスターミナルからのご乗車の場合、乗務員に「市民講座受講」とお伝えください。
お帰りの際は、会場受付にて「訪問カード」を受け取り、乗務員にお渡しください。

シャトルバス時刻表QRコード

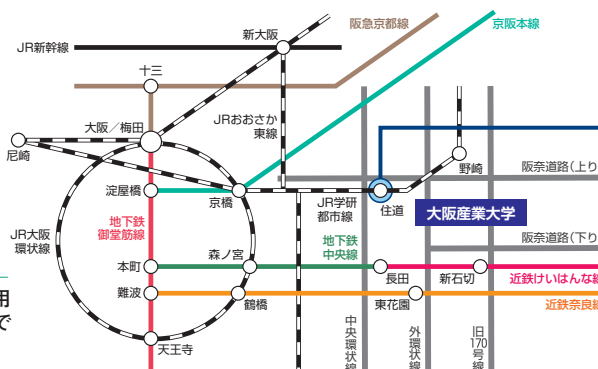


QRコードの読み込みが
上手いかない場合は、
大学ホームページ
「交通アクセス」から
ご確認ください。

<https://www.osaka-sandai.ac.jp/>

アクセス

JR学研都市線「住道」駅下車、駅南側の大学専用
シャトルバスターミナルから大学直通シャトルバスで
約15分。住道は快速電車停車。
JR学研都市線「野崎」駅下車、南へ徒歩約15分。



講座テーマ・お申し込み方法等の詳細は裏面をご覧ください。 https://www.osaka-sandai.ac.jp/research/society_le.html

2026年度 市民講座 日程予定

1講座:60分 合計13講座

日程・時間	講 師	テーマ	テーマ概要
5月9日 9:45~10:45	国際学部 ダニエル テューバー 准教授 [国際学科]	1 洋楽の楽しみ方 ー英語のリズムと韻ー	本講座では、どのように英語では単語や強弱のリズムがつけられており、また、それがどのように洋楽に反映しているかを説明します。また、韻を踏むことの重要性に注目したうえで、洋楽の歌詞でみられる様々な押韻の方法について探ります。この講座を通して違った側面から洋楽を楽しんでみてください。
5月9日 11:00~12:00	国際学部 山本鉄平 講師 [国際学科]	2 「教養」という思想ーゲーテ「ヴィルヘルム・マイスターの修業時代」を読む	「教養Bildung」は、近代以降のドイツ社会・ドイツ文化の基礎をなす思想で、現代ドイツの様々な社会現象・文化現象にも大きな影響を与え続けている。本講座では、近代的な「教養」思想の起源とされるゲーテ(1749-1832)の小説「ヴィルヘルム・マイスターの修業時代」(1796)を読み解き、「教養」思想の概要と射程を紹介する。
5月16日 9:45~10:45	経営学部 堀上明 教授 [経営学科]	3 始まりの経営学から考える人の マネジメント	始まりの経営学である1911年のテイラーの科学的管理法および、1924年から 1932年にかけて実施されたホーソン実験による人のマネジメントに関する知見を紹介し、その頃から変わらない人のマネジメントの難しさについて、参加者と一緒に考えてみたいと思います。
5月16日 11:00~12:00	経営学部 田中宏昌 教授 [経営学科]	4 中小企業における人的資本経営	中小企業における人的資本経営について皆さんと考えます。人材を「資源」ではなく「資本」として捉え、社員一人ひとりの能力や意欲をどう活かし、組織の成長につなげるか。限られた経営資源の中で、採用・育成・評価を通じて人の力を最大化する中小企業の工夫や事例を紹介します。
5月23日 9:45~10:45	経済学部 渡辺恭彦 准教授 [経済学科]	5 「近代の超克」座談会をめぐって	1942年、座談会「近代の超克」が開催され、京都学派の哲学者、文芸評論家の小林秀雄、詩人三好達治、映画評論家、音楽研究家など各分野を代表する13名が出席しました。専門分化が進んだ現代ではおよそ実現不可能な座談会です。戦争へと向かう日本で、知識人は一体何を討議していたのか考えてみたいと思います。
5月23日 11:00~12:00		6 戦後知識人の社会参加 ー60年安保闘争から大学闘争へ	1960年安保闘争は、丸山眞男が聴衆2500人を前に講演し、吉本隆明が「擬制の終焉」で頭角を表すなど、知識人が社会的発言をする画期となりました。60年代後半の大学闘争では、高橋和巳や廣松渉が大学教員の立場から全共闘を支持し、結果として職を辞します。大学と社会の境界にいた戦後知識人の言動を辿ってみたいと思います。
5月30日 9:45~10:45	スポーツ健康学部 仲田秀臣 教授 [スポーツ健康学科]	7 足が速い人は“ある筋肉”が大きいの？	足が速い人は足の速い人と比べ、太ももの筋肉やお尻の筋肉が発達しています。それらは目で見ることができ、誰でもその違いがわかります。しかし、目には見えない身体の内側でも“ある筋肉”が大きく発達しています。この講座ではその筋肉の場所、働き、鍛え方などを紹介し、その筋肉と転倒の関わり合いについてもお話しします。
5月30日 11:00~12:00	全学教育機構 大村知美 准教授 [高等教育センター]	8 さわれる宇宙	宇宙は望遠鏡で“見る”だけの世界ではありません。隕石や探査機が持ち帰ったサンプルを“さわって調べ”研究に加え、衝突など、惑星が形づくられ進化していく過程を実験室で再現して調べる方法もあります。はやぶさ2のように、宇宙空間で実験する時代も始まりました。“見て”“触れて”“つくる”宇宙を紹介します。
6月6日 9:45~10:45	建築・環境デザイン学部 小田和広 教授 [建築・環境デザイン学科]	9 大東市の自然災害と、私たちの防災	本講座では、大東市の自然災害(大雨・台風、地震、土砂災害など)とその備え(防災)について解説します。そのうえで、皆さんがお住まいの地域で「災害時に危ない場所」をどう確認すればよいか、大阪産業大学周辺を例にご紹介します。
6月6日 11:00~12:00	建築・環境デザイン学部 足田訓之 教授 [建築・環境デザイン学科]	10 デザインツールと空間の変遷について	世界遺産から現代建築までの変遷を設計する道具(デザインツール)の進化を通して概観します。
6月13日 9:45~10:45	システム工学部 熊澤宏之 教授 [システム工学科]	11 身の回りのセンサとAIを組み合わせたこんなことが分かります。	常時携帯しているスマートフォン、身につけるスマートウォッチやスマートグラス、自動車に搭載されたカメラ・レーダー・LiDAR、誰でも簡単に空撮ができるドローンなど、多くのセンサデータを容易に収集可能です。そして、これらの大量のセンサデータから有意な情報を抽出するAIの進歩も著しい。これらの動向を、実際の研究例を交えて紹介します。
6月13日 11:00~12:00	システム工学部 草場光博 教授 [システム工学科]	12 レーザーが生み出す未来のものづくり ー私たちの生活を変える微細加工技術ー	材料の表面に微細構造をつくることで新しい機能性をもたせることができます。これは生物の機能や構造などを模倣してものづくりに応用する技術(バイオミメティクス)で私たちの身近な製品にも使われています。講座では本学で開発した紫外レーザー超微細加工システムを使ったバイオミメティック材料の応用例を紹介します。
6月20日 9:45~10:45	情報デザイン学部 藤本雄紀 講師 [情報システム学科]	13 レーザーカッター・3Dプリンターで 広がるデジタルものづくりの世界	レーザーカッターや3Dプリンターなど、身近になりつつあるデジタル工作機器。この講座では、それらを使った世界中のユニークな作品を紹介しながら、「アイデアを形にする」ためのヒントを探ります。デジタル技術が広げる新しいものづくりの世界を、事例を通して楽しく学びましょう。

お申し込み方法

大阪産業大学のホームページ(https://www.osaka-sandai.ac.jp/research/society_le.html)からお申し込みください。ハガキ、FAX、E-mailにてお申し込みをされる場合は住所、氏名(フリガナ)、電話番号、参加希望の講座番号を明記してお申し込みください。また、FAXを使用される場合は下記申込書をご利用ください。

※受付確認のFAX、メール等は致しませんのでご了承ください。



お問い合わせ・お申し込み先

〒574-8530 大阪府大東市中垣内3-1-1
大阪産業大学 産業研究所事務局「市民講座」係
TEL:072-875-3001 FAX:072-875-6551
E-mail:shi-kouza@cnt.osaka-sandai.ac.jp

本申込書は大学にて厳重に保管し、記入いただいた内容や本講座申し込みにて知り得た情報は、市民講座運営・大学関連行事のご案内をする目的以外には一切利用いたしません。



2026年度
市民講座

受講申込書 FAX:072-875-6551

送信時の表裏の間違ひが多くなっております。送信面のご確認をお願いいたします。



受講を希望される上記講座名(テーマ)の番号欄に☒ (チェック)をお願いいたします。

フリガナ	受講者ID(郵送物宛名に記載しております)	TEL
氏 名		
住 所【都道府県・市町村・マンション名・号室までご記入ください】		FAX
〒		

2026年度 市民講座 参加状況表

申込合計	997人
参加合計	744人
参加率(%)	74.6%

(1) 国際学部 「欧米の言語や文化に親しむ」

	日程	テーマ	申込人数	参加人数	参加率(%)	天気 気温
1	5/9 第1回目	洋楽の楽しみ方 ―英語のリズムと韻― 国際学科 ダニエル テューバー 准教授	66	56	84.8%	晴 22.5/14.4
2	5/9 第2回目	「教養」という思想 ―ゲーテ『ヴィルヘルム・マイスターの修業時代』を読む 国際学科 山本鉄平 講師	61	51	83.6%	晴 22.5/14.4
学部合計			127	107	84.2%	

(2) 経営学部 「人を活かす経営を探る ―理論の原点から中小企業の実践まで―」

	日程	テーマ	申込人数	参加人数	参加率(%)	天気 気温
3	5/16 第1回目	始まりの経営学から考える人のマネジメント 経営学科 堀上明 教授	64	48	75.0%	晴 28.2/18.5
4	5/16 第2回目	中小企業における人的資本経営 経営学科 田中宏昌 教授	64	50	78.1%	晴 28.2/18.5
学部合計			128	98	76.6%	

(3) 経済学部 「社会思想史の観点より、 戦前から戦後にかけての知識人らの言動などについて考察します。」

	日程	テーマ	申込人数	参加人数	参加率(%)	天気 気温
5	5/23 第1回目	「近代の超克」座談会をめぐって 経済学科 渡辺恭彦 准教授	68	54	79.4%	曇のち晴 26.9/19.4
6	5/23 第2回目	戦後知識人の社会参加 ―60年安保闘争から大学闘争へ― 経済学科 渡辺恭彦 准教授	70	56	80.0%	曇のち晴 26.9/19.4
学部合計			138	110	79.7%	

(4) スポーツ健康学部

	日程	テーマ	申込人数	参加人数	参加率 (%)	天 気 気 温
7	5/30 第1回目	足が速い人は“ある筋肉”が大きい！？ スポーツ健康学科 仲田秀臣 教授	91	68	74.7%	晴のち曇 30.2/16.7
学部合計			91	68	74.7%	

(5) 全学教育機構

	日程	テーマ	申込人数	参加人数	参加率 (%)	天 気 気 温
8	5/30 第2回目	さわれる宇宙 高等教育センター 大村知美 准教授	85	64	75.3%	晴のち曇 30.2/16.7
機構合計			85	64	75.3%	

(6) 建築・環境デザイン学部

	日程	テーマ	申込人数	参加人数	参加率 (%)	天 気 気 温
9	6/6 第1回目	大東市の自然災害と、私たちの防災 建築・環境デザイン学科 小田和広 教授	78	60	76.9%	曇のち晴 28.2/19.6
10	6/6 第2回目	デザインツールと空間の変遷について 建築・環境デザイン学科 疋田訓之 教授	77	63	81.8%	曇のち晴 28.2/19.6
学部合計			155	123	79.4%	

(7) システム工学部 「ものづくりを支えるシステム工学」

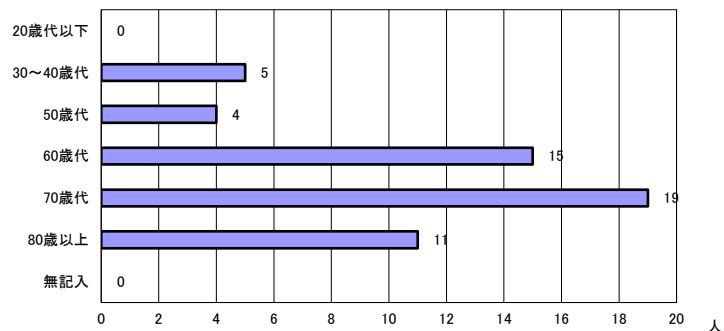
	日程	テーマ	申込人数	参加人数	参加率 (%)	天 気 気 温
11	6/13 第1回目	身の回りのセンサとAIを組み合わせると こんなことが分かります。 システム工学科 熊澤宏之 教授	104	74	71.2%	曇 30.8/21.0
12	6/13 第2回目	レーザーが生み出す未来のものづくり ー私たちの生活を変える微細加工技術ー□ システム工学科 草場光博 教授	91	64	70.3%	曇 30.8/21.0
学部合計			195	138	70.8%	

(8) 情報デザイン学部

	日程	テーマ	申込人数	参加人数	参加率 (%)	天 気 気 温
13	6/20 第1回目	レーザーカッター・3Dプリンターで広がる デジタルものづくりの世界 情報システム学科 藤本雄紀 講師	78	36	46.2%	雨 26.8/23.0
学部合計			78	36	46.2%	

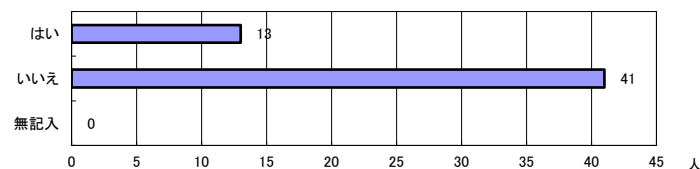
Q1. 年齢

20歳代以下	0 名	0 %
30～40歳代	5 名	9 %
50歳代	4 名	7 %
60歳代	15 名	28 %
70歳代	19 名	35 %
80歳以上	11 名	20 %
無記入	0 名	0 %



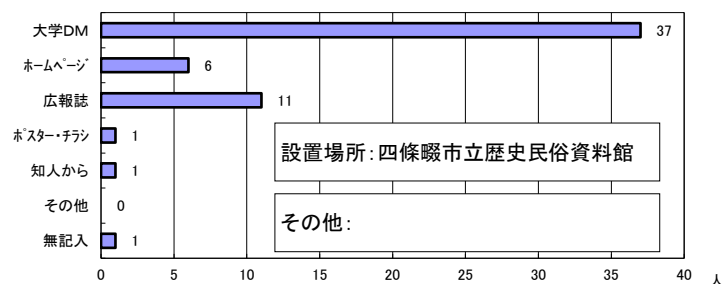
Q2. 今回初めて？

はい	13 名	24 %
いいえ	41 名	76 %
無記入	0 名	0 %



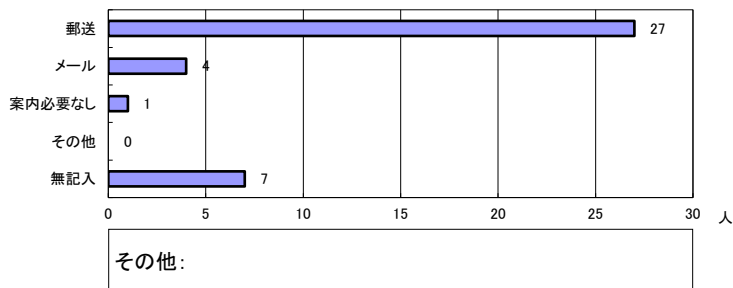
Q3. 情報源（複数回答）

大学DM ※	37 名	65 %
ホームページ	6 名	11 %
広報誌	11 名	19 %
ポスター・チラシ	1 名	2 %
知人から	1 名	2 %
その他	0 名	0 %
無記入	1 名	2 %



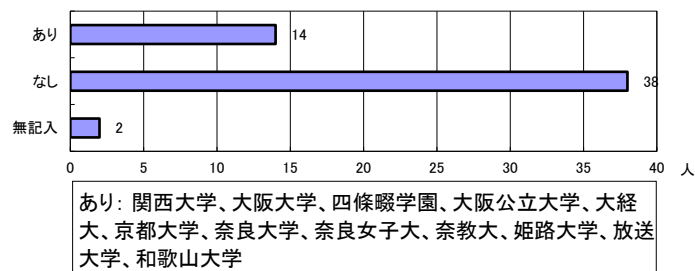
※今後希望する案内方法は？（複数回答）

郵送（今までどおり）	27 名	69 %
メール	4 名	10 %
案内の必要なし	1 名	3 %
その他	0 名	0 %
無記入	7 名	18 %



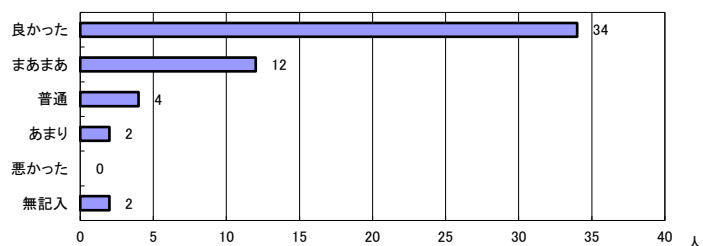
Q4. 他大学の市民講座の受講経験

あり	14 名	26 %
なし	38 名	70 %
無記入	2 名	4 %



Q5. 講座の感想

良かった	34 名	63 %
まあまあ	12 名	22 %
普通	4 名	7 %
あまり	2 名	4 %
悪かった	0 名	0 %
無記入	2 名	4 %



Q 6. 感想・意見

印象“良かった”

いつも聞いていて耳ざわりがいいのは、今日教えていただいた韻をふんでいるので耳あたりがよく、英語はよく分からないままずっと聞いていられたようです。

韻をふむのが洋楽ではあたり前であることを初めて知りました。文化は言語が違ってても、印象や音楽を通じて伝わるものがあると再認識できました。ありがとうございます。

洋楽の韻に頭韻があることも知らず、大変興味深い講座であった。例題の曲も60年代が中心で、受講者の年代に合わせ理解しやすかった。帰って他の洋楽の曲も楽しみたい。

音楽でいいなあ。歌詞の内容、英語、久しぶりに接した。分からない単語があったので辞書で調べようと思う。

韻と音楽の関係について今まで意識していなかったが、今後洋楽を聴く時に楽しめそうである。

楽しく聴かせていただきました。英語を目で追いながら心で歌わせていただきました。ありがとうございます。

おもしろかったです。このようなことは今まで考えたことがなかったので、最後まで楽しく聞かせていただきました。

リズムと韻について良く理解出来ました。今まで気が付いてなかった。洋楽の楽しみ方が変化した。

今日の話と比較して、漢詩に見られる韻、日本語の詩歌の同音異義語を使ったリズム「シャレ！」も七五調も、日本民謡のはやし言葉の繰り返しなど改めて目を開かされました。おもしろい！貴重な話をありがとうございました。

P. S. マザーグースを思い出しました。

洋楽の歌詞の語尾に規則性があるということを初めて知って驚いた。受講して良かった。

すばらしかった。歌よかった。

何十年ぶりの英語の授業を受けました。少し頭の回転が良くなったみたい。少し英語に興味を持てそう。たくさん英語の音楽を聴かせてもらい、頭がリフレッシュできました。明日からまたがんばろう。

英語学習へのインスピレーションを得た。

ポップソングにみられる英語の韻と頭韻の事例を、歌を聞かせて頂きながら歌詞を紹介して頂いた。英語のリズムと韻に関する内容は興味深かった。

ご講演をありがとうございました。韻のことを考えて洋楽をきくのも楽しそうですね。どの言葉でも「韻」というものが使われているのでしょうか。韻が心地よく思うのは人類共通なののでしょうか。

音楽を交えた大変楽しい講座でした。帰ったら洋楽の歌詞で韻をさがしてみようと思います。いろんな所に韻が使われている事が知れて勉強になりました。

英語は、からきしだめですが、とてもおもしろく受講しました。コカ・コーラは頭韻をふんだ名前だったんですね。ありがとうございました。

洋楽の楽しみ方、歌詞の中、韻と頭韻を組みあわせる事により、リズム感が良くなり楽しくなりますね！

英語の歌詞への興味が湧いた。今まで気にしてなかった事に気付いた。

この年齢になり英語を学びなおしています。音楽も好きなので、もっと歌詞を意識して聴きたくなりました。

とても良い講座でした。ありがとうございました。ダニエル テューバー先生のお人柄も素敵で、是非また英語の講座を開催していただきたいです。洋楽の韻、とても勉強になりました。

漢詞の韻は習った事があるが、英語は初めて知りました。難しかったです！

英語のリズムと韻、教えてもらってよかった。洋楽も聞けて。

初めての洋楽、楽しかったです。先生素敵です。

洋楽を聞いて心地良く感じていた理由の1つが、韻であったのだと気付かされました。以後、韻について注目して聞いてみようと思います。

色々と韻をふむ洋楽について勉強になり、楽しめました。ありがとうございました。

韻の事がよくわかりました。興味深かったです。曲にリズム感、引き締まりが(ポイントが)あるように感じました。

印象“まあまあ良かった”

久しぶりに古い音楽を聞き良かった。

歌詞部を指さして進行は、黒板の前の英語を理解しにくい人も今どの部分か分かり易い。以上をゆっくり2回くりかえし方式実施されたい。

洋楽も楽しかった。

久しぶりに英語のリズムにあうことが出来たので、よかったです。

韻をふむことで耳なじみが良く、曲にのせる事で心地いい音楽になる事が分かりました。そのしびりが言葉を変えたりジョークの曲を作ったりも興味深かったです。頭韻はリズムよく印象に残ると感じました。

ビートルズの韻が良かった

単語の意味も教えてほしかった。(きっと)辞書通りではないでしょうから。「Hey Jude」が韻を踏んだ歌だとは知らなんだ...

苦手な分野ですが、興味深く聞けました。

絵本を読んだり歌を聞いたりして、実例にふれることができて面白かったです。

英語のリスニングを受けているみたいで、目で文章を追っていく遠い昔をなつかしく、英語の授業を受けている自分がなつかしかった。目からうろこで、受けていて楽しかった。英語の授業、楽しいです。

印象“普通”

歌詞(英語の)が韻を含んでいる話がおもしろかった。

もっと英語の勉強をしておけば良かった。

印象“あまり良くなかった”

文字で読んでわからない所について説明がほしいです。(発音についてとか)

印象“悪かった”

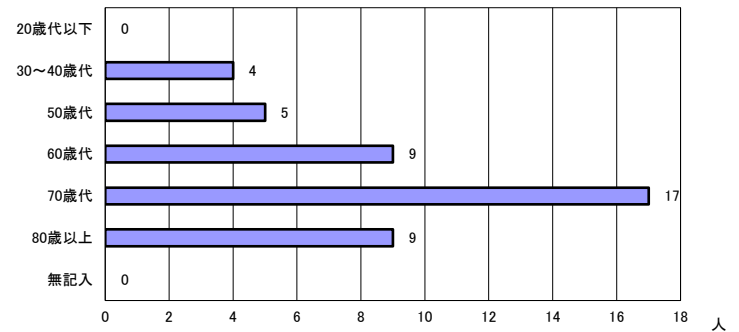
印象“無記入”

「洋楽の楽しみ方」理解できる場所もありますが...なかなか難しい。

笑顔で話してくださり、楽しい雰囲気でした。ありがとうございました。

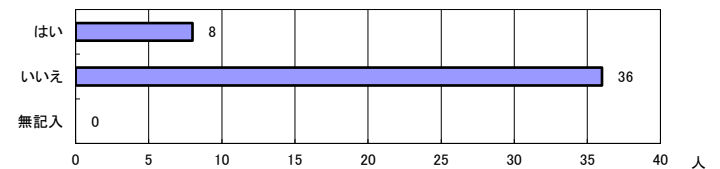
Q1. 年齢

20歳代以下	0 名	0 %
30～40歳代	4 名	9 %
50歳代	5 名	11 %
60歳代	9 名	20 %
70歳代	17 名	39 %
80歳以上	9 名	20 %
無記入	0 名	0 %



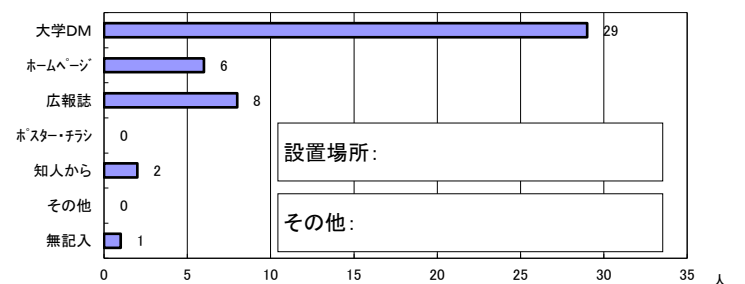
Q2. 今回初めて？

はい	8 名	18 %
いいえ	36 名	82 %
無記入	0 名	0 %



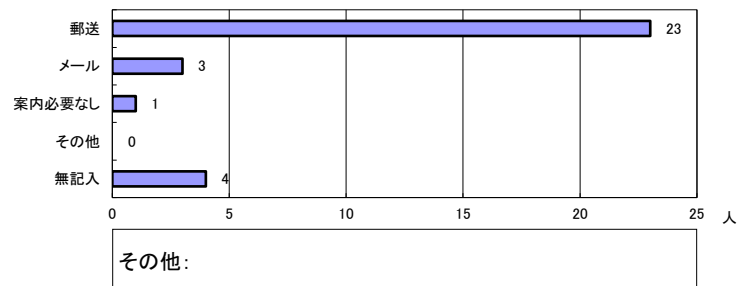
Q3. 情報源（複数回答）

大学DM ※	29 名	63 %
ホームページ	6 名	13 %
広報誌	8 名	17 %
ポスター・チラシ	0 名	0 %
知人から	2 名	4 %
その他	0 名	0 %
無記入	1 名	2 %



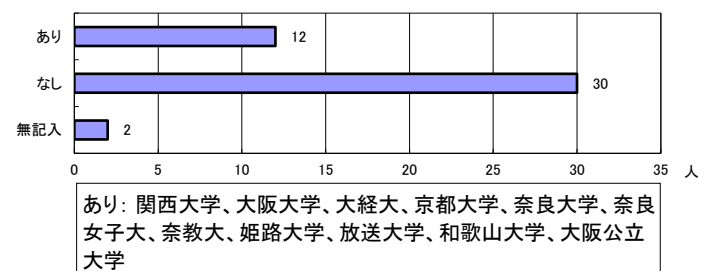
※今後希望する案内方法は？（複数回答）

郵送（今までどおり）	23 名	74 %
メール	3 名	10 %
案内の必要なし	1 名	3 %
その他	0 名	0 %
無記入	4 名	13 %



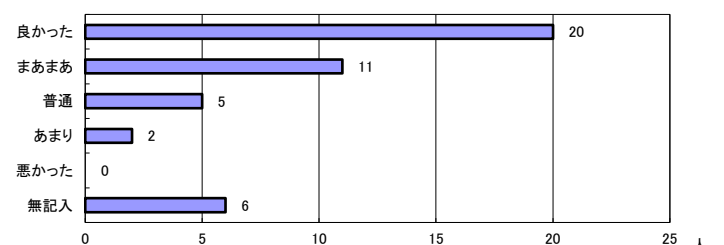
Q4. 他大学の市民講座の受講経験

あり	12 名	27 %
なし	30 名	68 %
無記入	2 名	5 %



Q5. 講座の感想

良かった	20 名	45 %
まあまあ	11 名	25 %
普通	5 名	11 %
あまり	2 名	5 %
悪かった	0 名	0 %
無記入	6 名	14 %



Q 6. 感想・意見

印象“良かった”

話がまとまっていて良かったです。来年、ドイツにおいて思想がどう変化していったのか話して頂きたいです。日本との対比がさらにあると分かりやすいと思いました。

AIとBildungとの比較を知りたいと思います。

ドイツの話はあまり聞く事がなかったので、自分の知っていることをフル活用して先生のお話を聞かせていただき、とても良かったです。

ドイツ文学で初めて学んだビルドゥング。様々な経験や深い省察を通じての人格形成と、相反する職業的知識との考え方に悩むところで追究したい。特にSNSで情報が氾濫する時代に、自己形成が重要であり、ビルドゥングの思想も取り入れたい。

哲学的な話なのでムズかしかった。理解するのが。しかし考えるきっかけになった。

ビルドゥングに共感します。生きている限り様々な経験をし考えていきたいと思います。でもそれが身につくのか頭に残るのは、この年令で難しいことです。

全く初めて聞いた話だったのですが、おもしろかったです。

Bildung⇨生涯にわたる人格の全面発達??

今日先生から受けた“知”は、私の“知の構造”の中へ取り込まれ、新しい“構造”として再構築される、それが私の“知”を求める喜びと言えます。付箋紙の寄せ集めのような“知”ではなく、時空に構築された“知”を持って、再び“他の知”を求めて新しい自分だけの“知”を組み立てるために、これからは行動します。今日は筆舌につくし難い刺激をもらいました。早速「・・・修行時代」を手に入れて読むことにします。

すごくよかった。ドイツ文化好き。

今回のBildung:ドイツのベルリン大学がBildungの教養に基づいているとは!Bildunsreiseで満足します!西ベルリン大学の方が好きですね!

ドイツについて初めて学びました。ボケ防止に役立ちました。ありがとうございました。

ドイツに19世紀に中学・高校の一貫校があったのはびっくり。日本も早く、小中高一貫校ができればいいなと思う。子供の環境も良くなるのでは。

ヨーロッパ旅行をするにあたり、本日学びを得たことは、たいへん有意義であった。

考えさせられた。

わかりやすかったです。

学生時代の不勉強を反省し、死ぬまでBildungしていこうと思いました。質問者のレベルも高くて、掘り下げたお話も聞きたくなりました。

ご講義ありがとうございました。Bildungの理解が進みました。今後ドイツ文学を読むときなども、より興味深いものとなると思います。

Bildungを初めて知りました。ゲーテ「ウィルヘルム・マスター修業時代」本をぜひ読んでみたいと思います。

印象“まあまあ良かった”

ビルドゥイングの概念が理解できました。自分は後期高齢の域に入りましたが、もう少し若いときにこの観念を聞いていたら、もう少し考え方・行動など哲学が異なっていたかと思うと残念です。

初めて聞く言葉だったので、大変興味深かった。

教養の中での考え方が大事。

難しかった。

ビルドゥングについて学習することができた。今まで知らない事でした。

ビルドゥングという観念は階級社会であったり、芸術にたけたドイツだったから生まれた観念かなって思います。“人として”という言葉が思い浮かびました。日本ではお坊さんかな。でも教養というのは私の中では理工系の学問も入るので、何かしっくりこないです。

内容が私には少し難しすぎて分からなかった。

ビルドゥイングの観念を初めて知りました。教養を身に付けるだけではなく、人格形成や自己陶冶が重要と感じました。

先生若っ。「鉄平」っていう名も今時。先生は「も」の文字を、横棒「二」次に「し」を書いて「も」にした。私は先に「し」を書き、次に横「二」を書く筆順で習った「も」である。この先生、大阪（関西）人ではない。

苦手な分野ですが、興味深く聞けました。

印象“普通”

難しかった。

様々な有名な哲学者を輩出したドイツらしい思想を理解出来た。

ドイツで生じた独特な概念である。“Bildung”に関して解説頂いたが、正直あまり良く理解出来なかった。

印象“あまり良くなかった”

教養とは人生そのもの！

講義の背景が理解できてなく非常に難しかった。

印象“悪かった”

印象“無記入”

我が国で考えると、資格取得やSNSやAIの登場により、ドイツでいうところの「ビルドゥング」が急速に失われている。というより、学問としても体系的にも発展しなかったように思える。日本的ビルドゥング＝総合的な人格形成を目指すことが、これからの個々の人生や、文化の発展、国家運営に益々重要になってくると思いました。

ビルディングについて深く理解できました。現代の質問をしてしまい、少し講義頂いたかたを困らせてしまっていたら、申し訳ないです。ありがとうございました。

「ビルドゥング」難しくてよく分からなかったです。

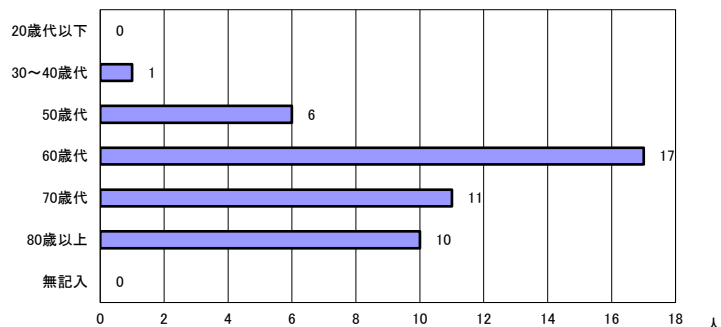
ドイツ、教養、からみた日本、AI等との関係（人格がない）、これからの研究に参考になった。

ビルドゥングの観念は少し分かったが、難しかった。

勉強になりました。ありがとうございました。

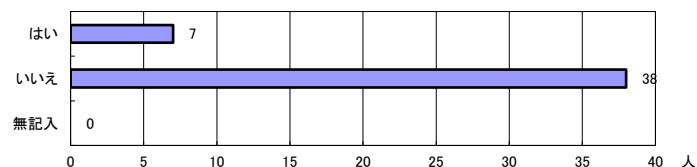
Q1. 年齢

20歳代以下	0 名	0 %
30～40歳代	1 名	2 %
50歳代	6 名	13 %
60歳代	17 名	38 %
70歳代	11 名	24 %
80歳以上	10 名	22 %
無記入	0 名	0 %



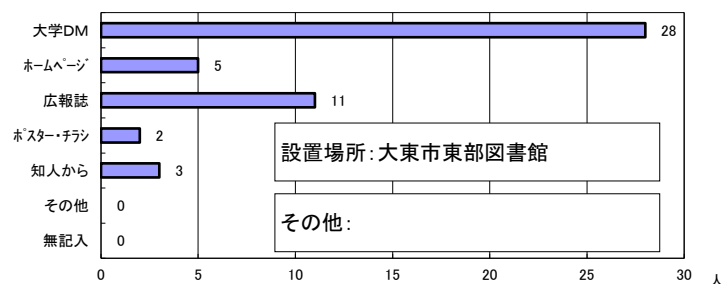
Q2. 今回初めて？

はい	7 名	16 %
いいえ	38 名	84 %
無記入	0 名	0 %



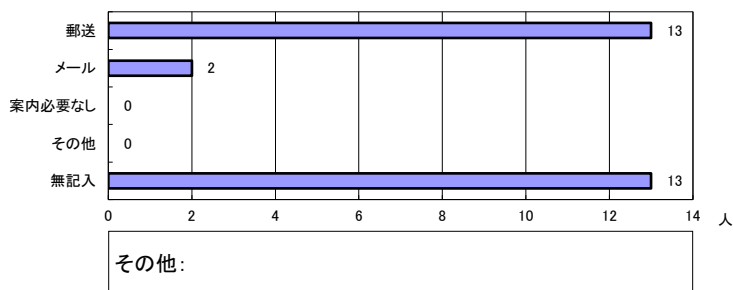
Q3. 情報源（複数回答）

大学DM ※	28 名	57 %
ホームページ	5 名	10 %
広報誌	11 名	22 %
ポスター・チラシ	2 名	4 %
知人から	3 名	6 %
その他	0 名	0 %
無記入	0 名	0 %



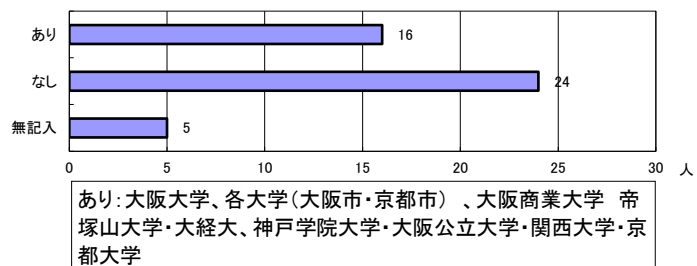
※今後希望する案内方法は？（複数回答）

郵送（今までどおり）	13 名	46 %
メール	2 名	7 %
案内の必要なし	0 名	0 %
その他	0 名	0 %
無記入	13 名	46 %



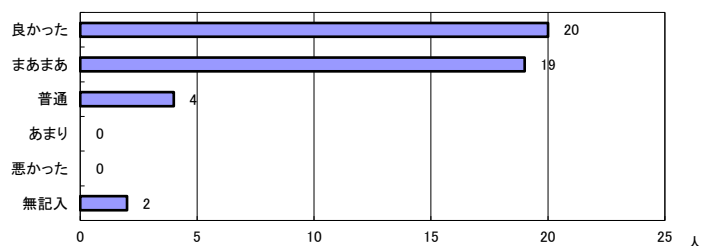
Q4. 他大学の市民講座の受講経験

あり	16 名	36 %
なし	24 名	53 %
無記入	5 名	11 %



Q5. 講座の感想

良かった	20 名	44 %
まあまあ	19 名	42 %
普通	4 名	9 %
あまり	0 名	0 %
悪かった	0 名	0 %
無記入	2 名	4 %



Q 6. 感想・意見

印象“良かった”

人を雇用する難しさ、扱うことの難しさ。そのことを考えるきっかけになった。

始まりの経営学から考える人のマネージメント。人のマネージメントについての難しさを理解出来た。

経営学の基礎的な事が学べて良かった。

私が企業（18才～60才）で働いてきた事にそうだと思った。（考え）

とても分かりやすい始まりの経営学を知る事が出来て、大変勉強になりました。参考文献も目を通したいと思います。

作業条件を変えても作業効率は向上したという結果はおもしろいです。なぜなのでしょう。明るさにしても明るくする方が効率は上がると思うのですが、これも変わらないのですね。おもしろい結果でした。

経営学の出発点がよくわかりました。

経営学との起源よりお話しいただき、難しい内容を分かり易く教えていただいた。科学的分析や実験等から、人のマネジメントに視点が行き、実体験と照らし合わせても大変興味深い講座でした。

資料が分かり易く、講義が聞き易く、理解できました。今まで気づかなかった『経営学部』の存在を認識しました。経済学部 経営学科ではないのですね！

自分のサラリーマン時代の事などを照らし合わせることができた。

久しぶりの経営学、楽しかった。今、ドイツは週休3日、いいなあ～。AIになったら、社会的感情は・・・？

ホーソン実験で作業環境：照明とか休憩が作業能率には関係がないとの事。作業分析で移動距離を短くするか、重複をなくす事でしょうね！

参考になりました。

今は人、様々な多様性を認めていないといけない時代なので、人や組織のマネジメントは益々難しくなると改めて感じさせられた。

現役時代のことがどうだったか考えながら講座を聞かせて頂きました。ありがとうございました。

印象“まあまあ良かった”

マネジメントの視点、もう一度現代の人的資源見なおす必要がある？

作業効率を上げるには、きちんとしたマニュアルが必要だと思いますが、最後は人の感情だと理解しました。一番の驚きはホーソン実験の検証時間の長さです。

経営学のイントロダクションとして興味深かった。一方で、最適解がない人のマネジメントに対する課題についての取り組みなどについて、もっと深く知りたいと思うようになった。頂いたスライドも視認性が高くよかった。優しい良い先生だと思いました。

先生がきちんと教えようとしてくださっているので、分かりやすかったです。

人のマネジメントは難しい。人は結局は賃金の為に働く、資金で全て決まってくる様に思う。

参考になった。

経営学の起源について、改めて考えることができ良かったです。テーラーシステムの功罪も改めて考えたいと思います。

現役の会社員ですが、今も昔も社会に生きる人間って、本質的な部分では変わらない生き物であるということ、各人が持っている性格、人徳の積み重ねの上に、人は動くことができるし、仕事もがんばる。結果、業績の向上につながっていくと思いました。ありがとうございました。

人のマネジメントに100%は無い。人は感情の生物なので、ちょっとしたことで生産性は変化する。今後AIが人間に代わって仕事をするようになるのだろうか？

少し分かりにくかった。説明が単調だった。

行動は感情と強く関係。ここをどうナッジするか

いつの時代にも労働者と経営者の考えは変わりがない様に思う。その一つには労働の者の組合にまかせきりにしてしまっているのではなからうか。

経営者とは書類にハンコをついていればよいものだと、子供の頃、大人になっても思っていた。働く身になり現実を知ると、社長の何がおもしろいのかと思うようになった。この講座で確信した。在職中、私は社長の顔を見たことはありませんでした。一度もです。新聞では見ました。

働き始めた頃を思い出しました。具体的に製造ラインの設計をしていましたので、新ラインの設計を始める前にマンマシンチャート等を取り、より作業効率の向上を求めていることを考えていました。その頃は作業者を“ヘッド”と呼称していました。（ex）ヘッド1，ヘッド2・・・

印象“普通”

少し声が聞きとりにくかった。講師の意見を聞きたかった。

- ・テイラーの考え、労使用者にウィンウィンに、衛生管理者の立場での考えに近いところがあるのではと思う（職場環境面）
 - ・答えが無い、職場の体制レベルに違いを
-

印象“あまり良くなかった”

印象“悪かった”

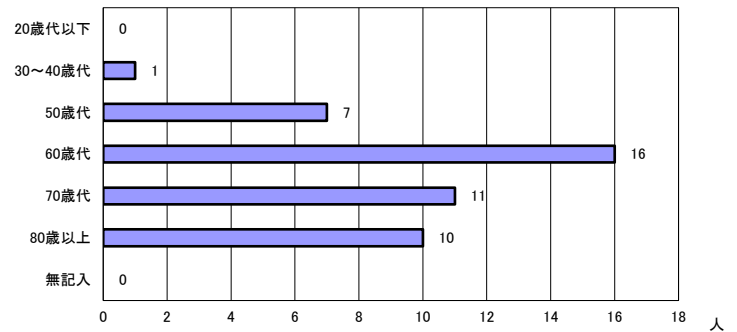
印象“無記入”

経営については、フリーの働く方が増加している最近、個々と社会とのつながりと経営はどうなのでしょう
か？（企業と個）

二次産業（製造）が主体であったが、第一産業 第三次産業、AI時代に分裂した項目が急務。年代別 20～30、～40、～50、～60が必要。P.D.C.A + 事前調整も必要

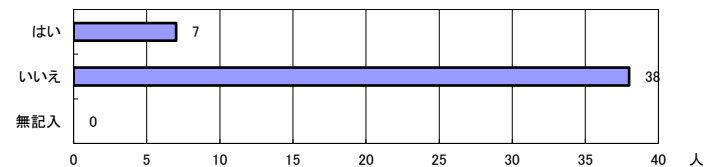
Q1. 年齢

20歳代以下	0 名	0 %
30～40歳代	1 名	2 %
50歳代	7 名	16 %
60歳代	16 名	36 %
70歳代	11 名	24 %
80歳以上	10 名	22 %
無記入	0 名	0 %



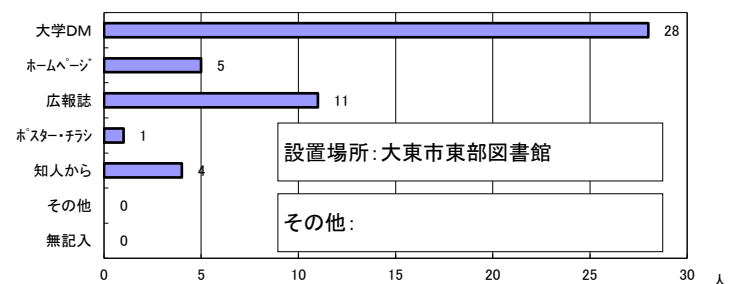
Q2. 今回初めて？

はい	7 名	16 %
いいえ	38 名	84 %
無記入	0 名	0 %



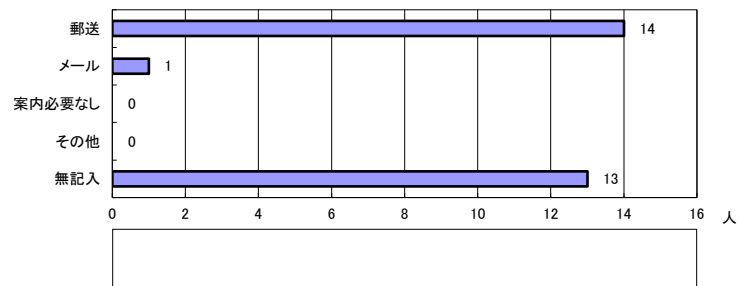
Q3. 情報源（複数回答）

大学DM ※	28 名	57 %
ホームページ	5 名	10 %
広報誌	11 名	22 %
ポスター・チラシ	1 名	2 %
知人から	4 名	8 %
その他	0 名	0 %
無記入	0 名	0 %



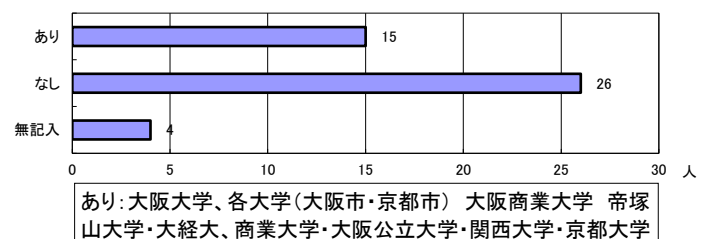
※今後希望する案内方法は？（複数回答）

郵送（今までどおり）	14 名	50 %
メール	1 名	4 %
案内の必要なし	0 名	0 %
その他	0 名	0 %
無記入	13 名	46 %



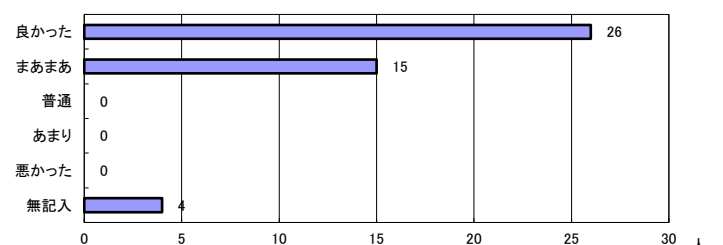
Q4. 他大学の市民講座の受講経験

あり	15 名	33 %
なし	26 名	58 %
無記入	4 名	9 %



Q5. 講座の感想

良かった	26 名	58 %
まあまあ	15 名	33 %
普通	0 名	0 %
あまり	0 名	0 %
悪かった	0 名	0 %
無記入	4 名	9 %



Q6. 感想・意見

印象“良かった”

わかりやすい説明と簡潔に回答いただきよかったです。

人的資本経営について、大企業と違い、経営者主導での経営とシンプルな仕組みが重要であることが理解出来た。

中小企業の問題点、課題など、分かりやすくよく理解できよかったです。

わかりやすかったです。

人的資本経営って、経営から離れても他分野に参考になると思った。

私は経験者です。（中小企業）

大企業と中小企業の違い、中小企業における人的資本経営の成功事例の会社の内容、失敗事例もあり、大変勉強になりました。

経営理念により会社の成長が変わってくる。組織が健康であるためには心理的安全性や人の健康も含めて健康経営によって伸び率が変わって来るというのがよくわかる。

「失われた30年」の原因の一つが理解できました。

おもしろかった。

失われた30年の反省から、必要とされる人的資本経営の意義が事例をもとに詳しく教えていただき、よくわかりました。仕組みを目的化しないことの大切さもよくわかりました。具体的でわかり易い事例を多くありがとうございました。

失われた30年、リストラ→従業員エンゲージメント低下、同感である。P社で実体験で強く感じた。失敗事例の①～⑥中小企業だけでなく、大企業も同様である。経営者がどこまで本気で取り組みを続けるか。多くが続いていない。

大企業等々の経験者だけあり、具体的に説明も多く、最も理解しやすく説得力もありました。

具体例を2社提示していただき、内容を理解するのに有効であった。大企業と中小企業の比較により、中小企業の人的資本経営の問題点が明確であった。

自分のサラリーマン時代の事などを照らし合わせることができた。

終身雇用・年功序列、私の入社当時
半導体等の外国製の安価の製品、私の中年時
日本郵船、日産自動車、日本製鉄高初任給

大企業と中小企業の経営のやり方の違いが分かり易い。お話ありがとうございました。

中小企業における従業員の育成方法などの視点でも、留意すべきことが良くわかった。

大変勉強になりました。現役時代に聞かせて頂きたかったなと思いました。

印象“まあまあ良かった”

わかりやすく良かったです。

人的資本経営が大企業と中小企業では大きく違うことがわかりました。人はコストではなく資本になることを理解して経営することが大事だと。ただ武蔵野という会社は私的にはあまり人的資本経営の成功事例として理解しにくかったです。

非常に専門的だったがひきこまれる内容だった。専門家という印象が強かったが、集中できる内容で良い先生が産大にはいるなと思いました。現場感がとても強い先生で、1回目と対照的だがとても面白かったです。

横文字が多く意味がわかりづらい。横文字に説明をつけてほしい。

特に中小企業では、賃金（報酬）の上昇と、人との関係性がうまくリンクしないと伸びないと思います。税制や社保など、公的制度面の抜本的な修正（減税など）が行われることが大前提だと思います。その上で人的資本の投下も行われるべきだと思います。

企業の実践をグループ・団体の活動に置き変えてみた。

人的資本経営 大事に・・・価値を最大限引きあげ、企業価値向上。

カタカナ語の意味がわかりません。OJT？ROIは何の略？KPI？そして使い方は？

大阪の大企業では、人的資源の観点で大失敗したところが多いように思います。一方、中小企業では代表者によるところが大きく、特に代替わりの際に大波がくることが大きいと思います。永続的な計画もトップが変わる際に途切れることが多いように感じます。

日々のマネジメントの質重要。良い勉強になりました。

印象“普通”

印象“あまり良くなかった”

印象“悪かった”

印象“無記入”

福利厚生等が大企業は賃金も安定していますが、中小企業は不安定の為、長く続かなくやめる人が多い。

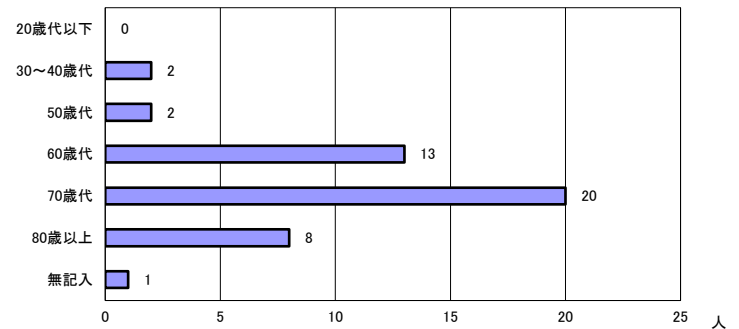
先生の経験豊かさからくる内容であり、非常に聞き易く、頭に残る講義でした。実感がこもっており、何か残像がありました。話術がうまいのであつという間の1時間でした。私は現役をリタイアした今ですが、この考えを地域、家族、友人などの対応に応用していきたいと思います。「人を生かす」とは難しいが何となくわかりました。

具体的に大手、中小を分離した説明が理解し易い。

手段の目的化・形ガイ的⇔中身が重要。人的資本経営 人はコストにもなる、資本にもなる。

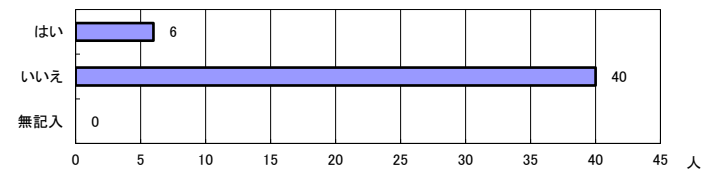
Q1. 年齢

20歳代以下	0 名	0 %
30～40歳代	2 名	4 %
50歳代	2 名	4 %
60歳代	13 名	28 %
70歳代	20 名	43 %
80歳以上	8 名	17 %
無記入	1 名	2 %



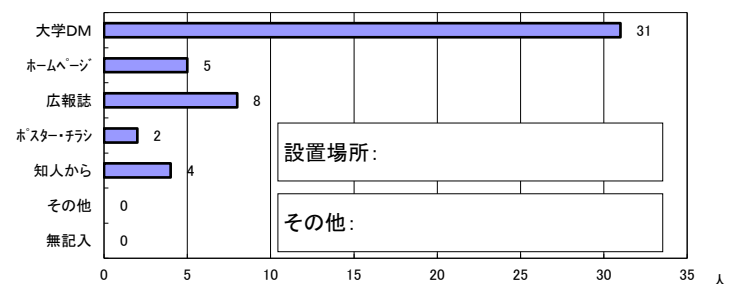
Q2. 今回初めて？

はい	6 名	13 %
いいえ	40 名	87 %
無記入	0 名	0 %



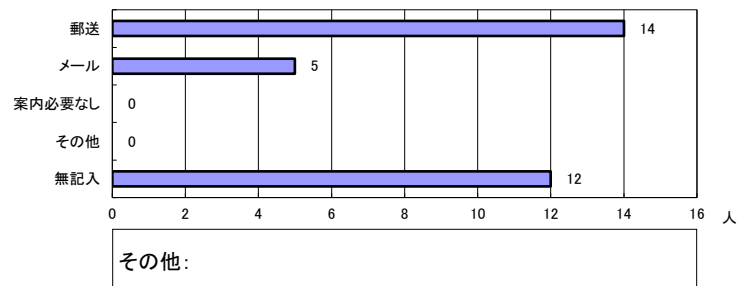
Q3. 情報源（複数回答）

大学DM ※	31 名	62 %
ホームページ	5 名	10 %
広報誌	8 名	16 %
ポスター・チラシ	2 名	4 %
知人から	4 名	8 %
その他	0 名	0 %
無記入	0 名	0 %



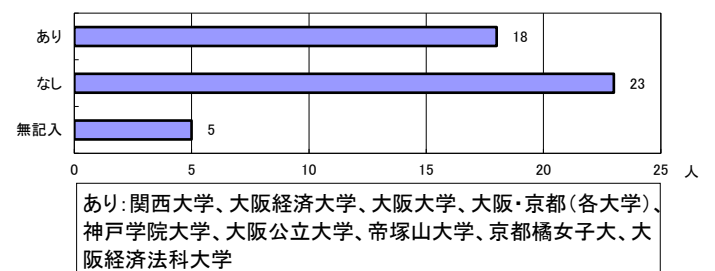
※今後希望する案内方法は？（複数回答）

郵送（今までどおり）	14 名	45 %
メール	5 名	16 %
案内の必要なし	0 名	0 %
その他	0 名	0 %
無記入	12 名	39 %



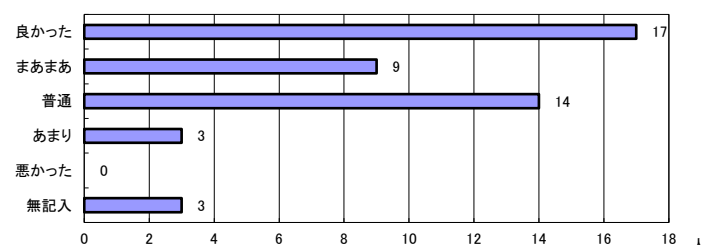
Q4. 他大学の市民講座の受講経験

あり	18 名	39 %
なし	23 名	50 %
無記入	5 名	11 %



Q5. 講座の感想

良かった	17 名	37 %
まあまあ	9 名	20 %
普通	14 名	30 %
あまり	3 名	7 %
悪かった	0 名	0 %
無記入	3 名	7 %



Q 6. 感想・意見

印象“良かった”

全然知らなかった事が勉強出来ました。

現在の日本の状況をみると、日本が戦争に突入していった思想的背景を知る必要があることを知りました。ありがとうございました。

シリーズ化してほしい。

おもしろい！！美しい壁を見たような講義でした。遠くにながめるだけの1時間。帰宅したらもう一度読み返し、いくつかの文献（御紹介の）に当たってみます。政権と軍部に“銃口”を向けられ、彼らは何を恐れ欲しながらも、自分の論に恥じないように“弁解”を探りながら、相手の“腹”もさぐりながら座談したのでしょうか？

年を取ってあまり頭を使わなくなっていたが、久しぶりに学生時代の講義を受けている気がした。

少々難しかった。

座談会の文献を読んでみたくなりました。

不安定な時代に座談会が有った事は知りませんでした。講座に参加させて頂いた事で、色々な事を学ぶ事が出来て良かったです。

戦争から何を学びとり今につなげてゆくのか、思想性を問われるような内容だった。

近代の超克とのことを始めて知った。前日に調べて予習をしたが理解するのが困難であったが、本日の講座である意味楽しく聞けて少し理解が深まった。戦中の時代での実施に意義があると感じた。

印象“まあまあ良かった”

戦前の思想家集団の思考の一端をかいまみた様に思います。

前回に比べると、今日の先生は学者だと思いました（前は先生でした）。今の世相を考えると今回の講座は大変意義深いと言えます。

知識不足で理解しにくいです。近衛と西田の生涯尊敬の念が太平洋戦争へと・・・？

この人達の思想は今も影響を与え続けているということですか？あれば具体的に何ですか？

哲学的な思想と太平洋戦争のかかわりについて興味を持てた。

知識人による座談会が戦争へと進んでいった事は間違いないと思いました。しかし敗戦とならなかったらまた近代の超克座談会の位置づけも大きく評価が変わってきたように思う。

1970年代に大学（京都）に在学していた者にとっては、大学闘争は身近であり、この戦前の知識人達の座談会・・・知りませんでしたに興味深かったです。

印象“普通”

理想や哲学論というテーマの特性上、なかなか理解を整理するのが難しかった。ただ、様々な考え方や論考が戦前であっても行われていたというのが、勉強になりました。

少し難しかった。

断片的単語として今までの単語が各々の関係が理解出来た。現代の共産主義と全体主義の関係は今も理解出来ず。

内容が思想的な話になり、理解できなかった。

戦争のきっかけ論？経済力に差異があるのにイデオロギーで始まるのは分かりにくい。

よく分かりません。

内容が難しくあまり理解できませんでした。

むずかしかった。

思想家や哲学者の「近代の超克」の様な受講をするのは初めでしたが、数学者や科学者の様に定理や原理は後々の世になっても変わらないが、思想家の思いは、時代によって変えられるのではないのでしょうか（正しいか誤りであったが等）

印象“あまり良くなかった”

相当の予備知識がないと理解出来ない内容と思えた。

資料が文章になっており、ポイントが良くわかりませんでした。結局「近代の超克」というテーマが何だったのか理解できませんでした。さらに解説で多くの思想家の名前がでてきましたが、いずれも初めて聞く名前で、混乱するばかりでした。

印象“悪かった”

印象“無記入”

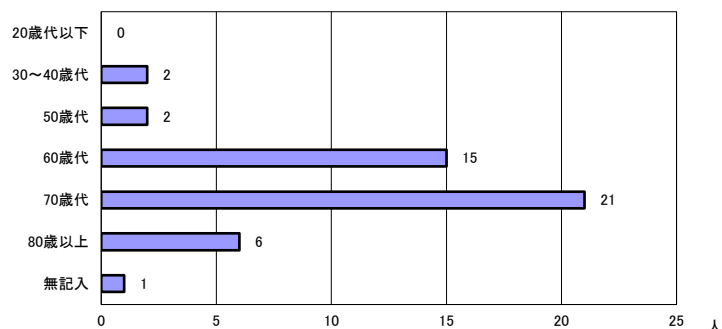
「近代の超克」座談会をめぐる色々な方の意見、参考文献などで初めて知った「近代の超克」を知りたくなりました。

難しい。

太平洋戦争に際しての知識人の反応にずっと興味と違和感があったので、いろいろな参考文献を知り、刺激を受けました。これから勉強していきたいと思います。

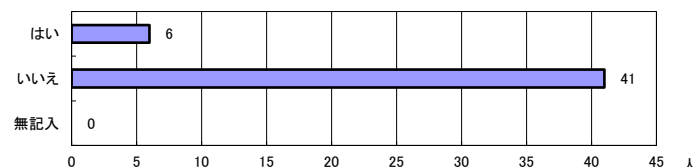
Q1. 年齢

20歳代以下	0 名	0 %
30～40歳代	2 名	4 %
50歳代	2 名	4 %
60歳代	15 名	32 %
70歳代	21 名	45 %
80歳以上	6 名	13 %
無記入	1 名	2 %



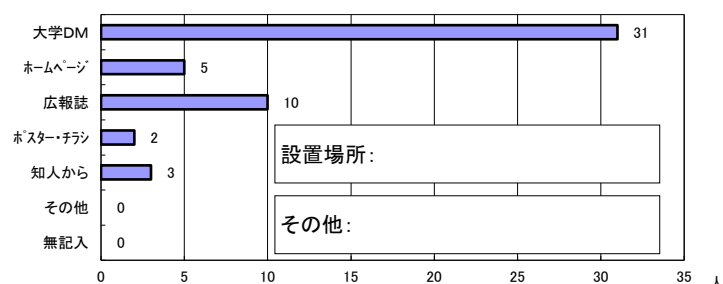
Q2. 今回初めて？

はい	6 名	13 %
いいえ	41 名	87 %
無記入	0 名	0 %



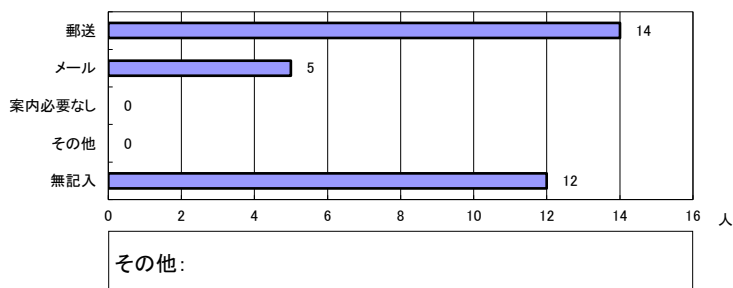
Q3. 情報源（複数回答）

大学DM ※	31 名	61 %
ホームページ	5 名	10 %
広報誌	10 名	20 %
ポスター・チラシ	2 名	4 %
知人から	3 名	6 %
その他	0 名	0 %
無記入	0 名	0 %



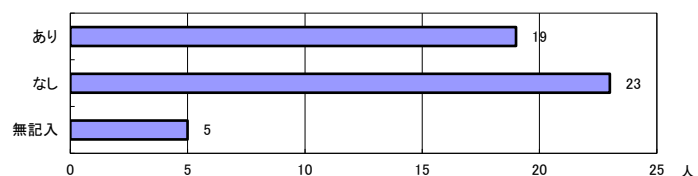
※今後希望する案内方法は？（複数回答）

郵送（今までどおり）	14 名	45 %
メール	5 名	16 %
案内の必要なし	0 名	0 %
その他	0 名	0 %
無記入	12 名	39 %



Q4. 他大学の市民講座の受講経験

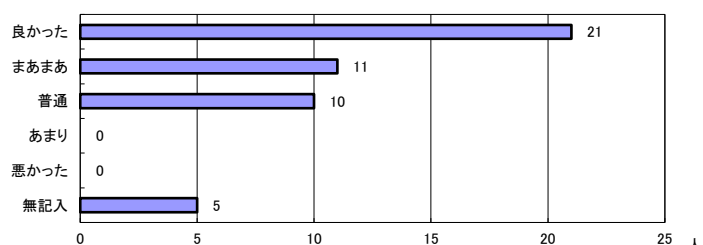
あり	19 名	40 %
なし	23 名	49 %
無記入	5 名	11 %



あり: 四條畷学園大、大阪経済大学、大阪大学、大阪・京都(各大学)、神戸学院大学、大阪公立大、帝塚山大学、京都橘女子大、大阪経済法科大学

Q5. 講座の感想

良かった	21 名	45 %
まあまあ	11 名	23 %
普通	10 名	21 %
あまり	0 名	0 %
悪かった	0 名	0 %
無記入	5 名	11 %



Q 6. 感想・意見

印象“良かった”

知識不足で余り解らなかった。「邪宗門」は読んだ事はありませんが…

安保を知る年代として、当時デモに参加するか否か悩んだ人間として、学費を出してもらっていた者としてやはり参加出来なかった。思想をとるか家族をとるか、今もなお安保を思い出せば不完全燃焼。今の自分がどうなっていたか？なに言ってんだか？失礼!!

高橋和巳の人間性を知りたくなった。

知らない事ばかりだったので、難しい話もあったが興味深い話もあった。

安保闘争時代の流れが分かった。

社会現象として安保闘争をとらえてましたが、文学者、評論家、哲学者が色々論じていたとは知りませんでした。彼らの表現は難しい。

自分が青春時代を生きた時期で、とても懐かしい感がよみがえってきた。しかし、この時代の著作を読んでいなかったのも、知らなかったことが多かったです。高橋和巳について、とても興味を持ちました。

シリーズ化してほしい。

「全学連」というのは「自治会」連合であるから、政治・軍事・経済の課題である「安保」を左右する運動の中心になり得ないと考えます?!「三池」は、労働者組織と経営者資本家たちとの交渉であって「安保」とは質的違いがあると考えます?!「安保」の混乱と「敗北」は、「闘い方」以前に課題の整理と運動の主体、主体が向かう相手が明らかになっていなかったのではないのでしょうか。だから敗北し次への展望が見えなかったのでは…。二講目もたくさんの刺激を受けました。有難う!

高橋和巳について、もっと深く知りたいと思った。とても良かったです。高橋和巳の小説を読もうと思いました。

第1回目、第2回目、難しかった。若い頃を思い出し、考える事、知る事の楽しさを追求したい。

時代がわかるのでよかった!

文献を読んでみたくなりました。

60年安保について資料にまとめられているので、講座は聞いていてわかりやすかったです。

今の日本に危うさを感じている。一市民として働く事が問われているような気がした。

知識人の社会参加のテーマで当時の知識人の事が知ることができた。特に安保闘争に関わった考え方や交流についての話が興味をもった。

印象“まあまあ良かった”

今日の講義は思想がからみ、短時間で理解するのは難しすぎる。

国会前デモに参加すると、日当が支給される世の中になってみたいで…。今はユーチューブとか世論に大きな影響をあたえる時代に…。難しいです!

今、学生運動が起こらないのはなぜですか。先生お若いのによくここまでお調べになって…。さっぱりわからん。

思想家や哲学者の「近代の超克」の様な受講をするのは初めでしたが、数学者や科学者の様に定理や原理は後々の世になっても変わらないが、思想家の思いは、時代によって変えられるのではないのでしょうか(正しいか誤りであったが等)

(1回目と感想同じ)

60年安保で学生運動、社会闘争の時代、背景について大変参考になった。

1時間の講座では内容が消化不足でしたように思われます。その分、聴講側には理解が困難でした。

60年安保闘争は理解しがたいが、戦後の攻の時代へのエネルギーが満ちあふれていたと思う。自分の子供時代の出き事だが、リンクしないように思う。

内容盛りだくさんで少しついていけない部分がありました。先生は高橋和巳について特にくわしく述べておられた印象があります。私は名前を知っている程度だったので、良くレジュメ読ませていただいて知識を得たいです。

印象“普通”

吉本隆明の言葉が印象的だった。「安保闘争はインテリゲンチヤの急進的または漸進的な運動によって主導された。インテリゲンチヤ運動が労働者とむすびつかなくてはならない。」

断片的単語として今までの単語が各々の関係が理解出来た。現代の共産主義と全体主義の関係は今も理解出来ず。(1回目と感想同じ)

安保闘争、なぜ反対闘争や運動が起きたのか？共産主義社会が出来る可能性はどの程度？戦後の民主社会を実現する、また戦争に反対する運動は理解できるが、力による現状変更・共産化は賛同できない。

イデオロギーに関して興味がありません。

日常生活では考える事のない話題でした。資料をゆっくり読んでみます。

むずかしかった。

印象“あまり良くなかった”

印象“悪かった”

印象“無記入”

知識人や文人、哲学者の議論や座談が、特に戦後の時代の流れ(国際的關係も含む)の中で、どう影響したか。戦後経済活動に傾注し、リアリズムが中心の世の中になったことと、これらの論の關係性を検討、整理する必要があると私自身思いました。

60年安保闘争から大学闘争へ、戦後の知識人の個々の事を知れて大変勉強になりました。

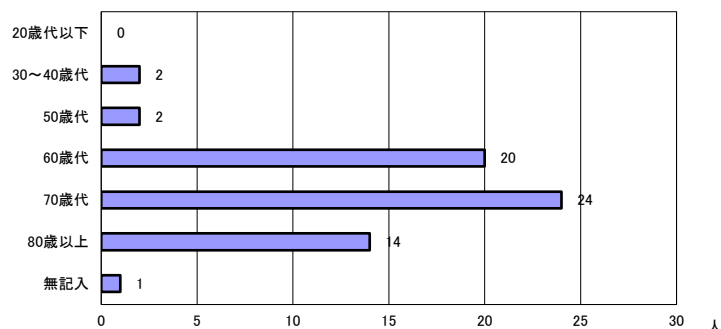
私の記憶。1960年安保というより資本の自由化の為にトヨタ自動車が頑張った！(子供だった為にイメージ)

戦後の運動について、全体を見渡すことが久しぶりに出来て良かったです。

「足が速い人は“ある筋肉”が大きい!？」

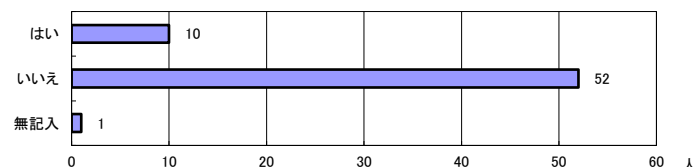
Q1. 年齢

20歳代以下	0 名	0 %
30～40歳代	2 名	3 %
50歳代	2 名	3 %
60歳代	20 名	32 %
70歳代	24 名	38 %
80歳以上	14 名	22 %
無記入	1 名	2 %



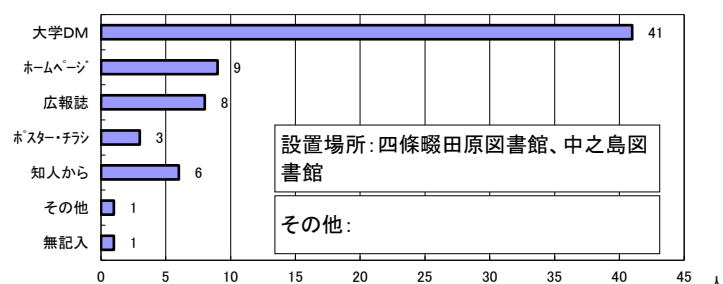
Q2. 今回初めて?

はい	10 名	16 %
いいえ	52 名	83 %
無記入	1 名	2 %



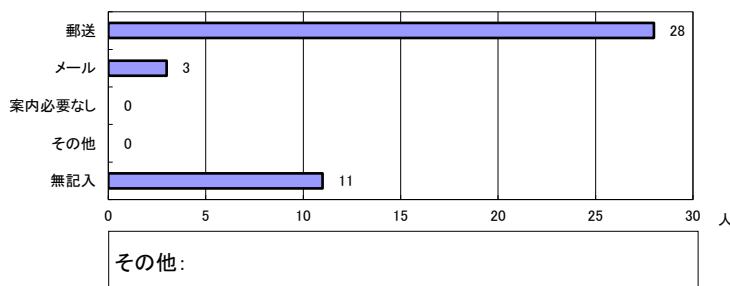
Q3. 情報源 (複数回答)

大学DM ※	41 名	59 %
ホームページ	9 名	13 %
広報誌	8 名	12 %
ポスター・チラシ	3 名	4 %
知人から	6 名	9 %
その他	1 名	1 %
無記入	1 名	1 %



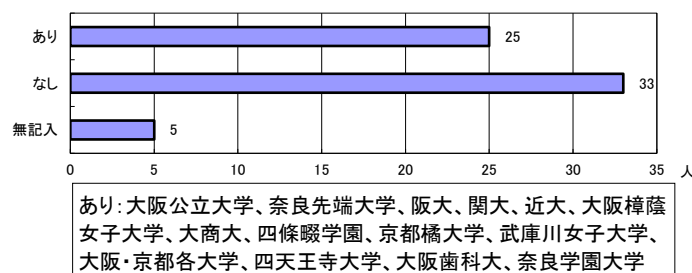
※今後希望する案内方法は? (複数回答)

郵送 (今までどおり)	28 名	67 %
メール	3 名	7 %
案内の必要なし	0 名	0 %
その他	0 名	0 %
無記入	11 名	26 %



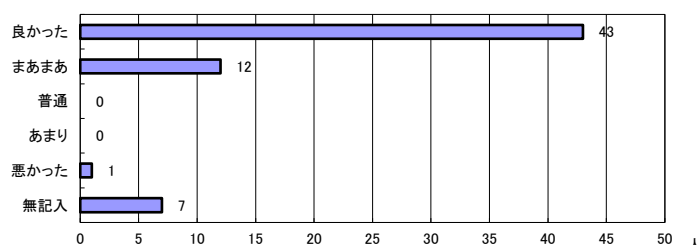
Q4. 他大学の市民講座の受講経験

あり	25 名	40 %
なし	33 名	52 %
無記入	5 名	8 %



Q5. 講座の感想

良かった	43 名	68 %
まあまあ	12 名	19 %
普通	0 名	0 %
あまり	0 名	0 %
悪かった	1 名	2 %
無記入	7 名	11 %



Q 6. 感想・意見

印象“良かった”

課題解決出来ました。

速歩を心掛けていますが加齢とともに心もち遅くなっています。先生の話参考に筋肉を鍛えたいと思います。

大変良かったです。いくつになっても体を動かしたいです。

マラソンを趣味でしているので、大変勉強になった。

とても参考になりました。

大腰筋をきたえて骨折を防ぎたいと思いました。走るのが早い人は大腰筋が大きいということを知り、良かったです。

赤筋だと思ってました。80近いのにマルチヒップジョイントボード1回やってみたくなった。困ったなあ、やめとけ。私はやったあ感がほしいタイプ。先生到着までの方のお話も良かったですよ。

日常でもできる運動も教えていただき良かったです。質疑応答もあり充実した内容でした。ありがとうございました。

非常に良かったです。いつも興味のある講座、受講させていただき、いろいろな事を吸収出来、最高の幸せです。これからもずっと受講いたしますのでよろしくお願いします。親切にいつもチラシ送って下さり有難う御座います。

2008年の特定検診が始まる際、エクササイズについて勉強し、大腰筋のことを知りました。大腰筋を鍛えることが健康によいことを今日改めて勉強させて頂きありがとうございました。運動の事例紹介もありありがとうございました。

大腰筋について良く理解出来ました。最近足腰の衰えを痛感していますので、教えて頂いた膝上げトレーニングを早速実行したいと思います。

大腰筋の重要性和向上について参考になりました。

大腰筋について説明して頂いたので、今後気にかけていきたいと思います。又、質問コーナーでの先生の答えが特に勉強になりました。生活に取り入れたいと思います。ありがとうございました。

老化と向き合う為の1つの方法、理論は興味深かったが、更に深掘りした内容を知りたいと思いました。

おもしろかった。

種々の運動について説明していただき参考になりました。日々実施しているウォーキング、スクワットのやり方に生かしていきたいと思いました。

とても参考になりました。体力を保つために自分に合った運動をしていきたいと思います。ありがとうございました。

大変興味深い内容で、100m走などの見方も変わります。これからの生活にも参考になると思います。

大腰筋の重要性和そのトレーニング方法を教えていただき、家で行ってゆきたいと思います。

大腰筋と転倒の関係に非常に興味深く学べた。資料やデータを元に重要な筋肉であることも良く理解できた。意識して大腰筋を鍛えて行きたいと感じた。

お話は良くわかり参考になりました。ありがとうございました。

転倒防止のトレーニングを具体的に解説していただき、非常に参考になりました。年に一回ぐらい転倒していますので、身体活動（ウォーキング）を続けようと思っています。

とても良い勉強になりました。

すぐに利用出来る内容だったです。

大腰筋、最近注目されていますね。転倒から寝たきりというパターンが多いので大切ですね。

大変興味深い意味のある講座であったと思います。わかりやすく、よかったです。

大腰筋をきたえる事が良いのは良く解った。ただ高齢になると、息苦しく思う様にできない。

高齢者の運動の仕方が大いに参考になった。

人種による体組織の違いが分かりました。

遅刻厳禁！内容はよかった。

身近で出来る運動を教えていただいた事が良かった。

いつもテレビ観戦している陸上競争は、こういうことだったんだと納得しました。

大腰筋のトレーニングの講義をうけた。すぐにできそうなので家で毎日やりたい。

大腰筋初めて知り、1つ新しい運動を行ってみます。

大腰筋の減少量を防ぐには？の講義だけではなく、座って出来る実践法がすぐここで試せんのが大変好かんかった。

具体性があり参考になった。特に「カラー図」でポイントが明確である。

おもしろかったです。体のことを考える機会になりました。

興味深く拝聴しました。健康への意識が高い作今、今日教えていただいた大腰筋をきたえる体操を実践し、いつまでも動ける体でいたいです。ありがとうございました。

転倒防止として大腰筋を鍛えることのスクワットなど、早速実践してみたい。

印象“まあまあ良かった”

トレーニングしながら、何の為にやっているかと頭に入れながら（理解しながら）やるとメンタルにもいいと思いました。転倒しないように頑張りたいです。先生の話で大腰筋初めて知りました。良かったです。

講座時間の半分程は出来れば体操を実施として、教室外の廊下の広場等で体を動かしてみたい。

初めて9秒台を出したのは「朝原」ではありませんよ！「桐生」ですよ。それと今日、交通渋滞で遅れたのではなく、時間を勘違いしたとご本人がおっしゃいました。平井堅に似た先生

運動（筋トレ）の大切さを改めて知り、今後意識的に身体活動量を維持して行きたい。

教えてもらったトレーニングを継続的にやっていきたい。

関節の故障と筋肉の維持とはバランスが大事かと思います。

もう少し若い時にこの講義を受けていたら、足が速くなり足腰も丈夫になっただろうと思い残念です！転倒防止のための筋であるとの話は興味深いですね。科学的に理論づけられた運動論ありがとうございました。

転倒防止には大腰筋のトレーニングが必要。転倒予防体操を日々職場で行なっています。労災防止の取り組みとしての実施です。

印象“普通”

印象“あまり良くなかった”

印象“悪かった”

遅刻ありえない。市民講座を軽視している。

印象“無記入”

これからの人生に助かりました。話に聞き入りました。

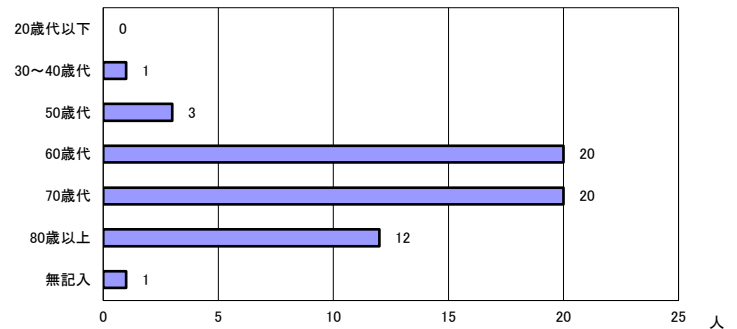
自分の筋肉との対話ができそうです。笑・・・。

母が転倒でリハビリ病院に入院してます。大腰筋のトレーニング、大変勉強になりました。帰って母に教えてあげようと思います。

転倒防止、運動を心掛けたい。

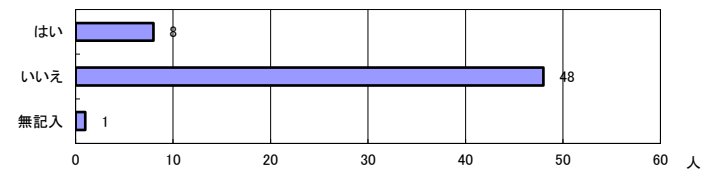
Q1. 年齢

20歳代以下	0 名	0 %
30～40歳代	1 名	2 %
50歳代	3 名	5 %
60歳代	20 名	35 %
70歳代	20 名	35 %
80歳以上	12 名	21 %
無記入	1 名	2 %



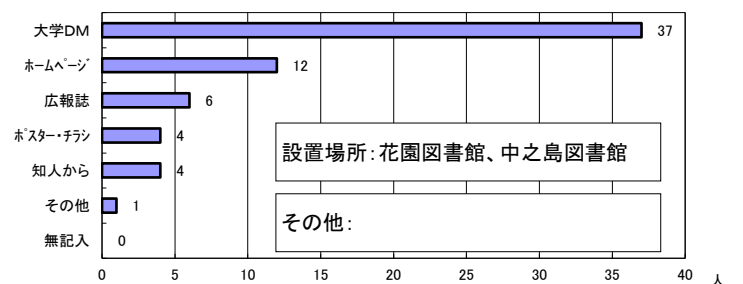
Q2. 今回初めて？

はい	8 名	14 %
いいえ	48 名	84 %
無記入	1 名	2 %



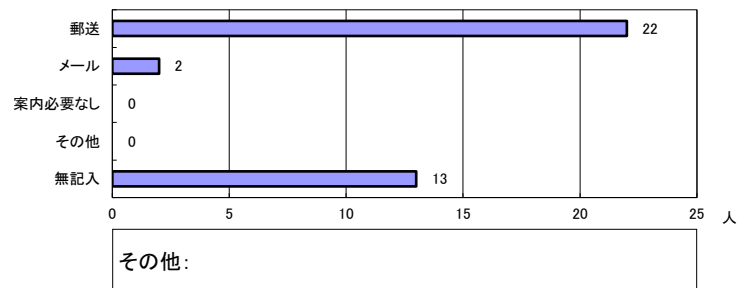
Q3. 情報源（複数回答）

大学DM ※	37 名	58 %
ホームページ	12 名	19 %
広報誌	6 名	9 %
ポスター・チラシ	4 名	6 %
知人から	4 名	6 %
その他	1 名	2 %
無記入	0 名	0 %



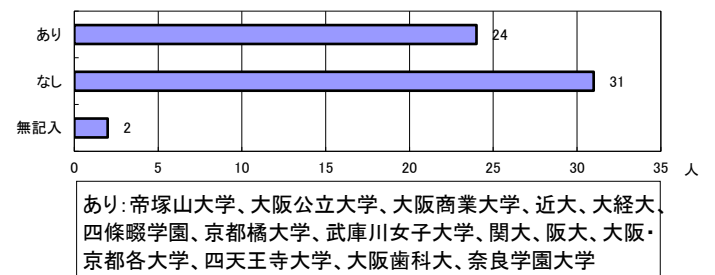
※今後希望する案内方法は？（複数回答）

郵送（今までどおり）	22 名	59 %
メール	2 名	5 %
案内の必要なし	0 名	0 %
その他	0 名	0 %
無記入	13 名	35 %



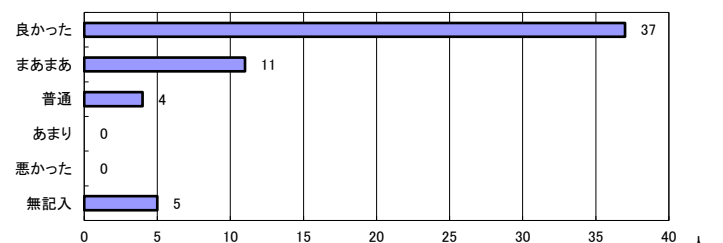
Q4. 他大学の市民講座の受講経験

あり	24 名	42 %
なし	31 名	54 %
無記入	2 名	4 %



Q5. 講座の感想

良かった	37 名	65 %
まあまあ	11 名	19 %
普通	4 名	7 %
あまり	0 名	0 %
悪かった	0 名	0 %
無記入	5 名	9 %



Q 6. 感想・意見

印象“良かった”

地球上の資源に限界が見えてきた現状、宇宙から資源採取は喫緊の課題だと思います。日本がリードオフマンとなるためにも、今後の探査継続を期待します。

全く知らなかった分野で興味深かったです。NEWSをよく見ておきます。図書館でも調べたいと思います。ありがとうございました。

小惑星リュウグウのこと、知りませんでしたに興味を持ちました。微惑星のことも知ることが出来て良かったです。先生が楽しそうに講義されているのが印象に残りました。ありがとうございました。

イトカワとかリュウグウとかニュースで報道されてましたが、今回のお話を聞いてより深く学ぶことができました。ありがとうございました。

地球の存在する太陽系の形成過程について、隕石探査機のはやぶサに依る実験、実験室での実験結果等について興味深い講義を聞かせて頂きました。宇宙のことをもっと知りたくなりました。

さわれる宇宙、触ってみる視点での話について、大変興味を持つことが出来た。

宇宙について特に興味は有りませんでした、今回受講したことで少し未知の世界を知りたいと思いました。

すごい！！地道な実験が行なわれていることを知れたことは良かった。宇宙関連のニュースを目にした時に、きっとこの事が頭をよぎることになると思った。

大変勉強になりました。楽しかったです！

おもしろかったです。宇宙のことが少しずつわかっていくのは楽しみです。ありがとうございました。

ダスト→微惑星→惑星へと進化の過程、難しいですね！

ダスト、微惑星についての考え方、はやぶサのミッションとリュウグウのことが興味深く、実験室での模擬物の宇宙の研究を詳しく知りたくなった。

おもしろく聞かせていただきました。

宇宙の謎について、いろいろな視点で解説していただき、非常に興味深く拝聴しました。実験室で触れる宇宙での仮説の説定の大きさに驚かされました。

難しかった。

高齢者が多いので、ゆっくりしゃべってほしかった…。星や隕石などを「人」と呼ぶのがおもしろいですね。

楽しく話が聞けた。

星の生成過程を実験室レベルで研究出来ることに感動した。

人の住める惑星を早く探したいものです。楽しい授業であった。又聞きに来たい。

面白かったです。また続きの授業受けたいです。

夢があるネ！

宇宙の形成に関して、多少興味を持てた。

昔は星座に興味を持った時期もあったのですが、今は新聞・テレビのニュースだけになってしまっていたので、今日講座は分からないことが多いですが、少しは興味を持ってお聞きすることが出来ました。

講義が少し専門すぎて理解ができなかった。今回はマイクの調子が良く聞きやすかった。

「はやぶサ」「イトカワ」の事が少しは理解出来ました。

さわれる宇宙というテーマ自体が興味深かった。

具体性があり参考になった。特に「カラー図」でポイントが明確である。

先生のお言葉が聞きとりやすくて、私にとってはあまり興味のないことが、おもしろく聞けました。地球の人が行っているということは、逆に宇宙の人？が来ることもあるんだと思うと、夢が広がりました。

自分としてはわからない微惑星、小惑星の話、誕生過程をわかりやすく解説してもらい、ありがとうございました。

宇宙の遙かかなたから来た隕石を研究することにより、小惑星のことがわかるようになる貴重な物、途中で燃え尽きる事も多々あるのでしょうか。小惑星帯の中の粒が何年もかかって衝突を続けたら、惑星に成長するのでしょうか・・・ずーっと先の未来が楽しみです。

印象“まあまあ良かった”

隕石から地球と太陽系の歴史まで分かるとは、考えたこともなかったです。ダスト模擬物実験という専門分野があることも初めて知りました。

難しかった。
おもしろい（水）（高温、低温等で混る鉱物）

成果（結果）が出るのが何十年も先の事ですね。夢のある分野だと思います。勉強しても勉強しても次々出てくる疑問。きりがありません。お金がかかりますね。

面白い講義でした。宇宙に興味を持ちました。今後さらに新しいことが発見されることを期待します。

惑星の生立では、物と物とが衝突すると結合すると考えるのが普通なのでしょうか。地球上での物理現象としては、物と物とが衝突すると“どンドン”分化（分散）して行くと考えるのが普通と思います。その違いが出発点として理解できておりません。

隕石でわたしたちの起源がわかること、地味な研究ですね。成果がノーベル賞につながれば良いですね。

時間をかけての説明がいるのでは・・・？

内容が天体、隕石、宇宙と難しく、ついて行くのに必死でした。大村先生の宇宙愛、熱量がすごく勉強になりました。ありがとうございます。

印象“普通”

触って調べる宇宙とは？

「リュウグウ」等に焦点をしばってほしかった。

早口で聞き取りにくい……。興味深い話で大変勉強になりました。

宇宙の話はやはり漠然としてなかなか頭がついていかず、ただレジュメ追うばかりでした。ただ、探査機（はやぶサ）のおかげで「サワレル宇宙」が可能で、そこから又新しい発見があることはすばらしいことだと・・・これからも期待します。

印象“あまり良くなかった”

印象“悪かった”

印象“無記入”

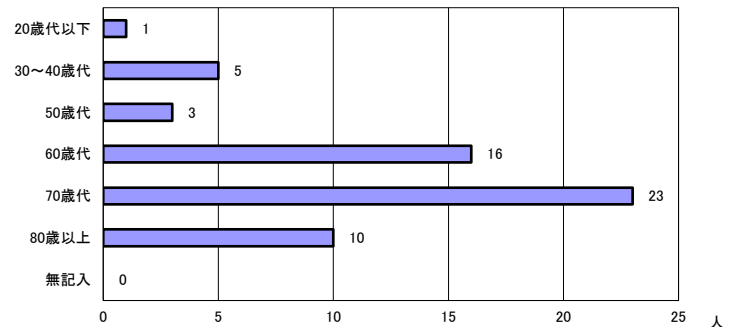
比較的むずかしかったが、探査機や宇宙の事にふれる事ができた。

小惑星の成り立ちや隕石の種類分けや、はやぶさ2のミッションの内容、実験室での模擬実験などがわかって、とても楽しい講義でした。

難しい。

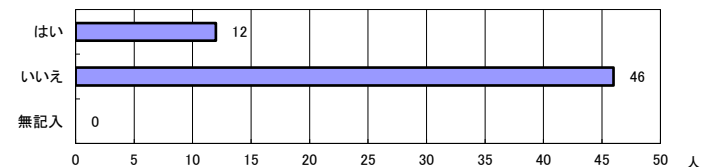
Q1. 年齢

20歳代以下	1 名	2 %
30～40歳代	5 名	9 %
50歳代	3 名	5 %
60歳代	16 名	28 %
70歳代	23 名	40 %
80歳以上	10 名	17 %
無記入	0 名	0 %



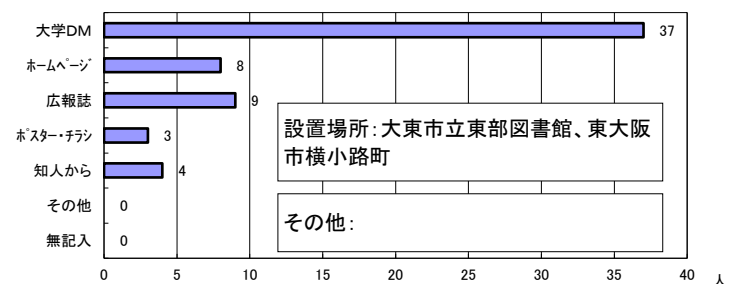
Q2. 今回初めて？

はい	12 名	21 %
いいえ	46 名	79 %
無記入	0 名	0 %



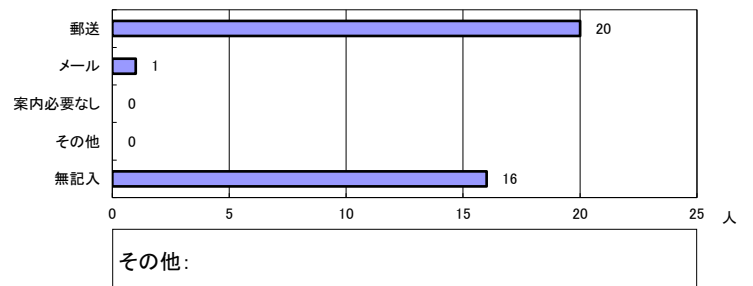
Q3. 情報源（複数回答）

大学DM ※	37 名	61 %
ホームページ	8 名	13 %
広報誌	9 名	15 %
ポスター・チラシ	3 名	5 %
知人から	4 名	7 %
その他	0 名	0 %
無記入	0 名	0 %



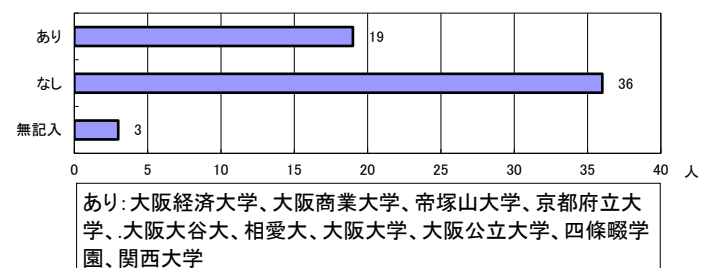
※今後希望する案内方法は？（複数回答）

郵送（今までどおり）	20 名	54 %
メール	1 名	3 %
案内の必要なし	0 名	0 %
その他	0 名	0 %
無記入	16 名	43 %



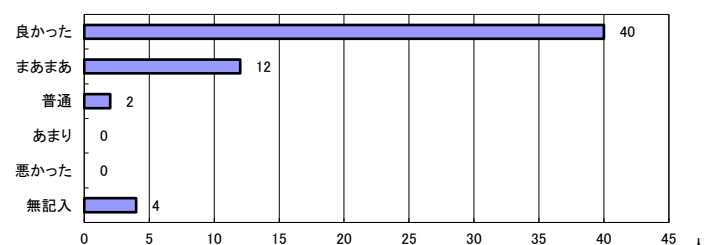
Q4. 他大学の市民講座の受講経験

あり	19 名	33 %
なし	36 名	62 %
無記入	3 名	5 %



Q5. 講座の感想

良かった	40 名	69 %
まあまあ	12 名	21 %
普通	2 名	3 %
あまり	0 名	0 %
悪かった	0 名	0 %
無記入	4 名	7 %



Q 6. 感想・意見

印象“良かった”

今後の災害に対する意識が変わった。必ず①～⑤までを確認すること、大東の災害マップを見るようにします。

大変役に立ちました。

大東市の状況がよく解った。

とても良かった。大東市に住んでいるのに知らないことばかり、わかりやすく嬉しかった。ありがとうございました。

大東に関しては土砂災害が気になるが、不動産価値に関わる事なので、防災マップで調べるしかないのかと落胆しました。大東では大東水害や、それ以前の自然災害などから、かなり対策は進んでいるので安心はあります。基礎知識が得られ良かった。

排水ポンプ場で水害から守られていることに安心しました。南海トラフ地震により液状化する地域を知り、地下のインフラが使用出来なくなることを知ったので、備えたいと思いました。

災害大国の日本において防災意識を高めておくことは、非常に重要でありリスクヘッジは喫緊の課題である。地域リスクを把握しておき、万が一の時は速やかに行動できるように努めたい。

大東市の災害について、一般論だけでなく具体的な例をまじえて話されているのが、イメージしやすく良かったです。先生の知見ふまえ、起こる起こらないをはっきり言っておられたのがすごい気持ちいい内容だったです。楽しい1時間でした。

私は「国土交通省川の防災情報」をスマホ・PCで常に確認しています。木津川が西進し北へ流れを変える堤から200m程に住んでいますので、大雨・台風情報が入ると上流のダムや支流（名張川）の様子を調べることにしています。木津川は天井川ですので、内水の状況も把握しています。地震対策も含め、対応を大分に整理できました。（つもりです。）ありがとうございました。

防災に関して実際に起こりうる事、必要な事がよくわかりました。南海トラフについては安心できました。

楽しく学べた。

防災、大変勉強になり面白かった。又拝聴したい！

大東市の災害に関するお話は、直ぐに生活に密着することなのでとても参考になりました。

多々参考になりました。参加して拝聴してとても良かったです。

身近な自然災害について防災の視点からも解り易く解説して頂き、大変有意義でした。日頃の備えを見直す機会にもなりました。

大東市内各地を細かく調査、さらに図示、資料、スライド理解し易い。

自然災害関係の概略がわかり、身近な防災について興味深かった。

気象庁が新しく発表した危険情報の表現内容の違いが良くわかった。

レベル4は逃げる、レベル5は自宅に留まるを頭の中に入れておきます。

2026年5月29日からの新しい防災ルールや、大東市の自然災害の概要や液状下状態になりうる場所など、大変勉強になりました。

災害について注意するポイントが分かり、参考になった。

身近な大東市のことを具体的に教えていただき、よく理解が出来た。不安をあおるのではなく、正しく事実を説明いただき防災を考えることが出来る。大東市防災アプリも入手しました。

新しい天気予報の内容を詳しく解説していただきありがとうございます。レベル4で全員が逃げることだけ認識しておれば、身の安全が保てる訳ですね！

大変参考になりました。家に帰ったら直ぐに防災が出来ているか見て廻る予定です。ありがとうございました。

画像を見てのわかりやすい説明でとても勉強になりました。ありがとうございました。

大東市に住んでいるので、大東市の地名を出して説明していただけて、今後の生活や災害時に役立つ情報でありがたかったです。逃げる場所の違いも3種類あることを知れて良かったです。大東市防災アプリも入っていたのですが、見方や活用の仕方はわかってなかったのが、今回教えていただけて大変勉強になりました。

身近なお話で興味深く聞かせていただきました。大東市では線状降水帯ができないとか、土石流はおこらないだろう…とか、ほっとするお話でした。50年前の大水を経験しましたが、治水緑地ほか高い堤防などができて守られていると思います。

身近に起こりうる題材だったので、興味深く聞いていました。天気予報の新ルールなど、知らなかったのが為になりました。防災に必要なのは知識だと改めて思いました。

防災マップetc. わかりやすい講義でした。地震対策etc. 考える必要が。すでに耐震工事は完了していますが…

わかりやすく説明していただき、ありがとうございました。きちんと知識をもって怖がらないで準備することを学びました。

印象“まあまあ良かった”

心の準備だけは必要と思いました。

大東市について災害範囲を具体的に示していただき分かりやすかった。もう少し大阪断層帯やポンプ場についての写真や地図があれば、イメージしやすかったと思います。

災害に対する知識や情報が多くあるが不安なことが多い。今日の講義は安心を抱けるもので良かったと思う。

大東市の防災アプリは毎日更新しているのですか？各避難場所の定員は何人ですか？それを越えたらどこへ行けばいいの？避難したために事故に合うこともあるのでは？

52年程前、大東水害訴訟問題がありましたが、この水害は2～3年の間に2度同じ辺りが水害を受けた様で、全国的にも注目を集めました、その結果はいかがでしたでしょうか。

南海トラフ地震、すごく不安に思っていましたが、少しやわらぎました。旧170号線沿い液状化の可能性、理解できました。注意はしながら必要以上に怖がらないで生活しようと思います。防災アプリ入れますね。

印象“普通”

印象“あまり良くなかった”

印象“悪かった”

印象“無記入”

避難の方法、段階別でとてもわかりやすかった。線状降水帯は大阪では淀川沿いということで、大東市は絶対におきないと言われましたが、その理由について説明してほしかった。

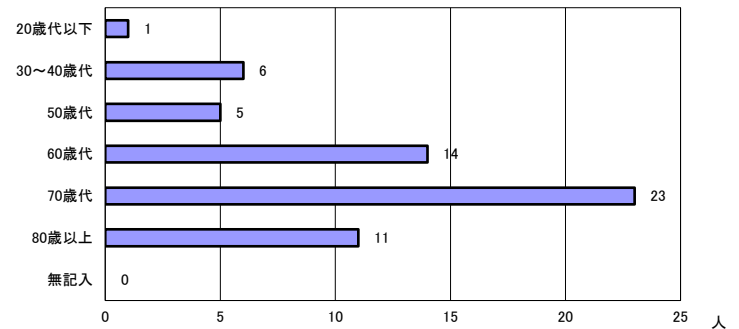
大変参考になりました。

大東市の防災の事が分かった。

身近な大東市の災害の講義、非常に参考になりました。ありがとうございました。

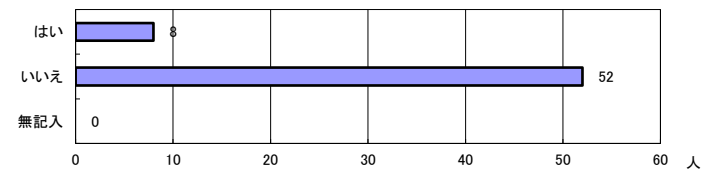
Q1. 年齢

20歳代以下	1 名	2 %
30～40歳代	6 名	10 %
50歳代	5 名	8 %
60歳代	14 名	23 %
70歳代	23 名	38 %
80歳以上	11 名	18 %
無記入	0 名	0 %



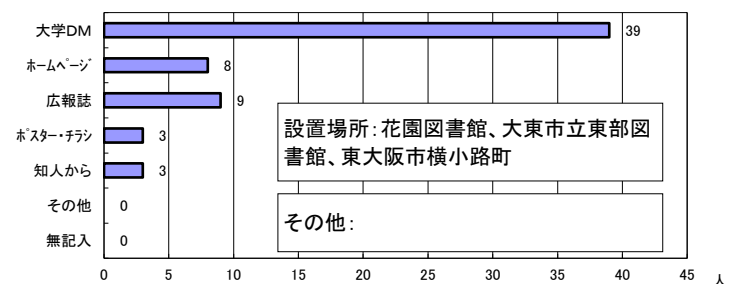
Q2. 今回初めて？

はい	8 名	13 %
いいえ	52 名	87 %
無記入	0 名	0 %



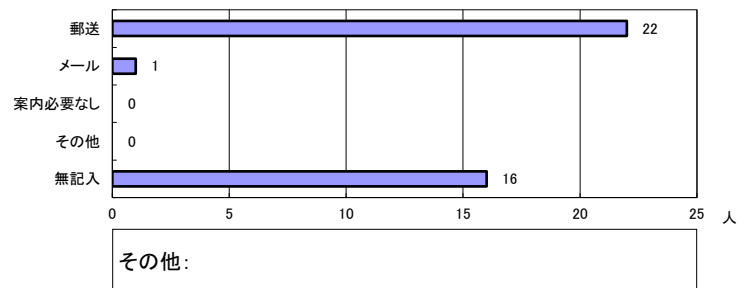
Q3. 情報源（複数回答）

大学DM ※	39 名	63 %
ホームページ	8 名	13 %
広報誌	9 名	15 %
ポスター・チラシ	3 名	5 %
知人から	3 名	5 %
その他	0 名	0 %
無記入	0 名	0 %



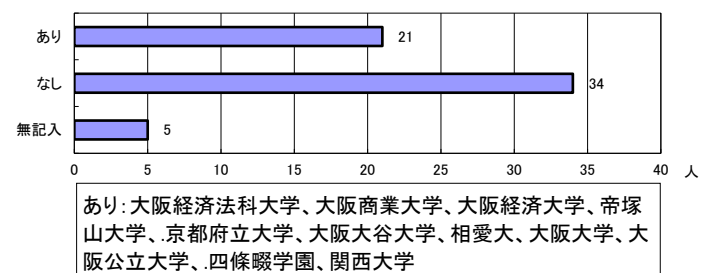
※今後希望する案内方法は？（複数回答）

郵送（今までどおり）	22 名	56 %
メール	1 名	3 %
案内の必要なし	0 名	0 %
その他	0 名	0 %
無記入	16 名	41 %



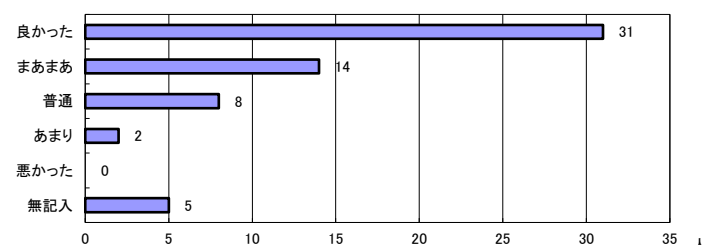
Q4. 他大学の市民講座の受講経験

あり	21 名	35 %
なし	34 名	57 %
無記入	5 名	8 %



Q5. 講座の感想

良かった	31 名	52 %
まあまあ	14 名	23 %
普通	8 名	13 %
あまり	2 名	3 %
悪かった	0 名	0 %
無記入	5 名	8 %



Q 6. 感想・意見

印象“良かった”

とても面白かったです。デザインについての知識をかいまみれた事と、オクジーとヨレンタの会話も見てみます。時代はどんどん進んでいるんですね。

アルベルティの建物のデザインがオリジナルで、建物がコピーと言われていたというお話に建築の深さを感じました。パイパーキューブの建築も見かけると思いました。

初めて勉強する内容でとても難しく感じたが、歴史～現在の主流も聞いて、とても興味深かったです。

私は明治期に建設された鉄道構造物を記録しています。橋台、橋脚、桁、（鉄）、線路面、プラットホーム、跨線橋駅舎、官舎（残り少）、洋灯室etc. 始めはわからなかったのですが、これらには“ヒナ形”が作られていて、それらを駅や路盤の状況に合わせて現場で変化させ、建築されていたようです。建設者の頭には、すでにそれらの要素を組み立てたデザインができていたようです。先生の話をお聞きしながら、そんなことを考えていました。

デザイナーの考え方がとてもよくわかりました。

たいへん興味深かった。

孫が今年建築関係の仕事についたので、きっと今日先生の説明されたようなことを勉強したのだと思います。

難しかったですが、何でも知る事は良いと思っています。

建築デザインに関して専門的な解説をして頂いたが、門外漢の自分には少し難しかった。しかし貴重な受講体験をさせて頂きました。

なかなか難しい内容でしたが、建築物の画像は興味深かった。

古代建築物は、図面ではなく比率を元に設計されていることに驚いた。

建築は、ある一定の法則でつくられているのでしょうか？

建築や空間の事が知れて大変勉強になり、大変楽しかったです。

建築とデザイン空間について興味が持てた。

デザインツールの変遷について学んだ。理論の内容と進化、ツールの変化と変遷が興味深く、楽しく理解出来た。

お話が難しすぎてわからない！もう少しだけでも易しく、わかりやすくお願いします。でも、理解出来る方には大変興味のあるお話だったと思います。

何千年もかかって進化してきた建築が、ここ数十年で大変進んできた事がわかる。

歴史の建築物が好きなので面白い講義でした。専門的なことは少し難しかったですが、デザインの進化のスピードはすごいと思いました。

おもしろかったです。ここでしか聞けないお話でした。

印象“まあまあ良かった”

こういう視点で考えたことがなかったので、非常に興味深かったです。自分が学生ならこの講義をとりたいたと思います。

少し文系の人間には難しかった。

AIの発達により、作品のオリジナリティはどのようになっていくのか？人間の創造性は必要なくなるのか？この分野に興味はつきない！

概念的な要素を多く含んでおり、網羅的な理解が追いつかなかったのが正直なところです。これを発端として勉強していきたいと思います。

日本、西洋の差異が理解された。（修練）（論理）

パルテノン神殿の時代から何も変わってない部分もあることにびっくり。3DCADを使いこなせる人はスゴイ！おもしろかった！

建築のデザイン、強度等も全てCP、AIで設計が出来るとなると、今後の設計技術も短時間で設計も出来、面白い学問と思い、やってみたくなる。

聞きなれない言葉がたくさんでてきて少し難しい話でした。でも、いろいろと学ぶことができて良かったです。ありがとうございました。

なんとなく解った様で難しい内容で。

印象“普通”

内容が専門的でありながら、かなり広く、概略さえも消化不良気味です。もう少し範囲を限定して詳しくしていただけたらと思う。テーマを限定していただけたら、わかり易いと思います。

抽象的で理解できない部分もありましたが、パルテノン神殿の知覚補正については後で調べてみたいと思いました。ありがとうございました。

専門的過ぎる。市民に本当は何を伝えたいか？学問を知ろうとする人には良いかも知れないが、受講者の身近なものに例をもち出しての話の方が良いと考えられる。話の中に研究結果のみでなく、ユーモアも少しある方が良いでしょう。

難しい！

建築技術がないので難しい内容でした。

少し難しく頭がついていかなかったです。テーマ「デザインツールと空間の変遷について」と実際の講義内容が？でした。

印象“あまり良くなかった”

私は文科的思考の人間なので、今回のテーマはかなり難度が高く、全般的に理解不能でした。申し訳ございません。

大学時代、建築・環境デザイン学科だったので、疋田先生の授業を受けたことがあるのですが、その時も授業難しいな、と感じておりました。そして今回、久しぶりに市民講座で受けてみても、やはり難しい内容でした。建築を学ぶ学生さんなら理解できる人も多いかもしれませんが、一般市民にとっては理解しにくいと思います。もう少し馴染みのある内容の方が良いと思います。

印象“悪かった”

印象“無記入”

カタカナ語（専門用語）をそのまま使っているのが、意味（単語）を考えるのに時間がかかった。

少し難しかった。

大変勉強になりました。楽しく聞かせて頂きました。

難しい話が多かった。

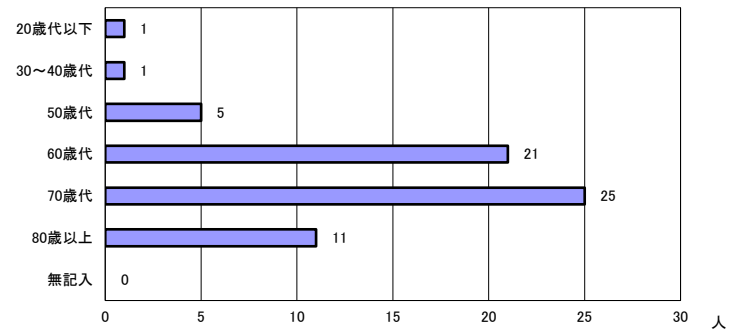
少し専門すぎて理解できなかった。市民講座の内容は、もう少しやさしくしても良いと思う。

「身の回りのセンサとAIを組み合わせるとこんなことが分かります。」

回答数/出席数 64/74名

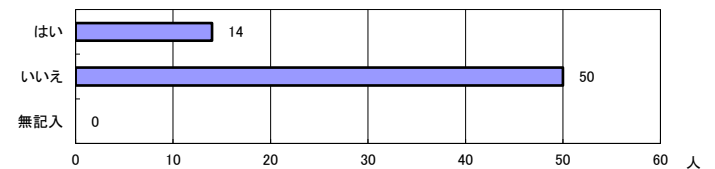
Q1. 年齢

20歳代以下	1 名	2 %
30～40歳代	1 名	2 %
50歳代	5 名	8 %
60歳代	21 名	33 %
70歳代	25 名	39 %
80歳以上	11 名	17 %
無記入	0 名	0 %



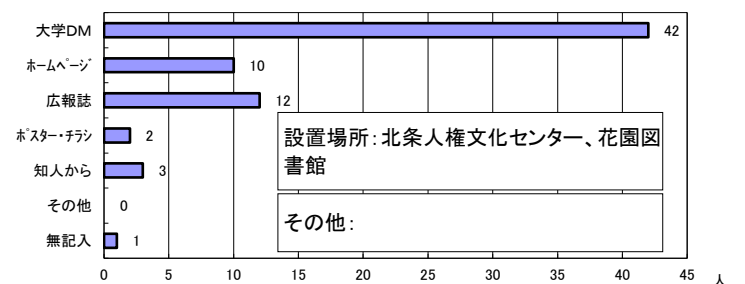
Q2. 今回初めて？

はい	14 名	22 %
いいえ	50 名	78 %
無記入	0 名	0 %



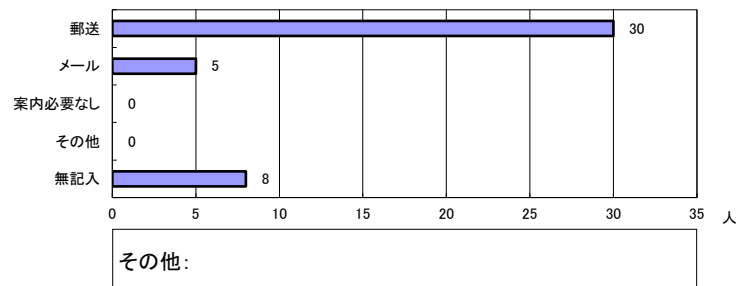
Q3. 情報源（複数回答）

大学DM ※	42 名	60 %
ホームページ	10 名	14 %
広報誌	12 名	17 %
ポスター・チラシ	2 名	3 %
知人から	3 名	4 %
その他	0 名	0 %
無記入	1 名	1 %



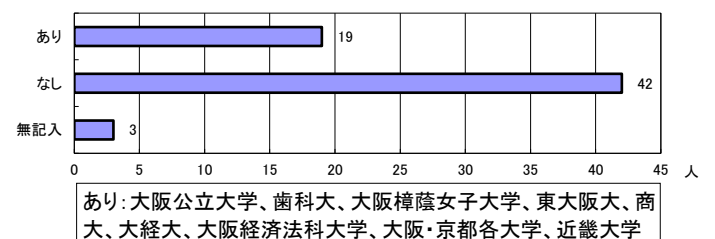
※今後希望する案内方法は？（複数回答）

郵送（今までどおり）	30 名	70 %
メール	5 名	12 %
案内の必要なし	0 名	0 %
その他	0 名	0 %
無記入	8 名	19 %



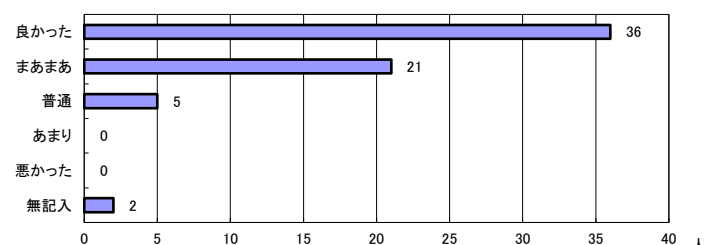
Q4. 他大学の市民講座の受講経験

あり	19 名	30 %
なし	42 名	66 %
無記入	3 名	5 %



Q5. 講座の感想

良かった	36 名	56 %
まあまあ	21 名	33 %
普通	5 名	8 %
あまり	0 名	0 %
悪かった	0 名	0 %
無記入	2 名	3 %



Q 6. 感想・意見

印象“良かった”

ぼんやりとイメージしていた技術の少し詳細がわかり、イメージしやすくなりました。

参加者の質疑応答レベルが高いので、市民大学の枠だけで通用するのはもったいないと思いました。

面白かったです。

今後が楽しみです。

興味深く拝聴しました。

非常に面白いでした。

大変勉強になりました。もっと時間をかけて聞かせていただければうれしいのですが！再度の講座を希望します。

非常に身近な最近情報を教えて頂き、大変興味深かった。

スマホ、スマートウォッチ、ドローン等の身近にあるセンサとAIを組み合わせる色々な事例を紹介して頂き、興味深い内容でした。

様々なセンサを具体例を見せていただき、大変勉強になりました。課題が多くあることも実感しました。

2講座とも普段の生活では知りえない事を教えていただきました。ありがとうございました。興味深かったです。

内容が高度で短時間では理解できない。もう少し易しく説明してほしい。

AI能力が高度している専門的内容を高齢者が少し分かる状態になってきた。写真（カラー）図示化した資料。

ここでしか聞けないお話なのでとても良かったです。

AI 利用での開発や、新たな情報処理、技術について参考になった。

3年前に講座を聞いたが、それからさらに技術が進歩していることが良くわかった。

データさえ集めれば問題はすべて解決するとの話は少し・・・？新しい問題が次から次へ起こる。

AIでこんないろんなことができるんだと驚きました。詳しく説明していただき、ありがとうございました。

AIの時代、人間がAIに使われる時代が来るのでしょうか？

奥が深く聞いていて勉強になりました。

増々の発展、期待しております。大阪産大の名前が世界に知れ渡る様、願っております。ありがとうございました。

AIに覚えさすには沢山の資料がいるし、沢山の資料の処分をどうするか、そしてAIに覚えさすのも最終的には人間がするのであるとわかった。最後はすべて人間がするのですネ。中国のAIの使い方は怖いようです。日本とは違うんですネ。

興味深い点 ・スマートフォンを用いた移動モード検知 ・データ収集と後処理による補正 ・移動体をセンサとしての活用 実例をもとに説明があり、わかり易かった。

印象“まあまあ良かった”

理解しやすい説明でした。実験結果の報告・・・良い。

内容が身近だった。

内容から、もっと時間がほしいと思う。

既存の技術、製品からセンサーデータとって、利用することを考えるきっかけになった。

難しかった。でもおもしろかった。AIはすごい！

実験段階と実装段階との明確な差異は、環境等の条件の違いだと思います。例えば、車のセンサーについての信頼性を高めることが実装には必須といえると思います。この当たりの進歩を望むばかりです。

AIの発展状況とセンサー技術の係わりを知ることができた。利用方法が人間にとって有用なものになる様、期待します。

具体例を実際に映像や実物で見せてもらえたのが分かりやすく良かったです。雷をゆっくり見たときの映像、とても面白かったです。雷の音と光を実際に見たり聞いた時は怖いけど、ゆっくり見ると樹木の枝が伸びていってるように見えて綺麗に見えました。ウェアラブルカメラで「People」とか見た部分が白くなるとか、瞬時に判断しているのがすごいですね。

大変難しかった。（先生は平易になるように努めておられたが・・・）

AIに関するテーマとしては、1時間の講座時間では不足すぎる。少なくとも、1年間の講座分（7週間分）をAIにつぎ込んでいただきたい。

飯、風呂、寝るの私には遠い世界です。先生の話はおもしろく身近でした。でも遠い。

興味深い講座であつという間の時間でした。特に身近な場所での交通シュミレーション。

印象“普通”

話題が広範囲の為、1つの話題に対しての説明時間が短い。もう少ししぼって時間をかけて説明してほしい。
スマートウォッチのヘルスケアへの活用に大変興味を持った。

印象“あまり良くなかった”

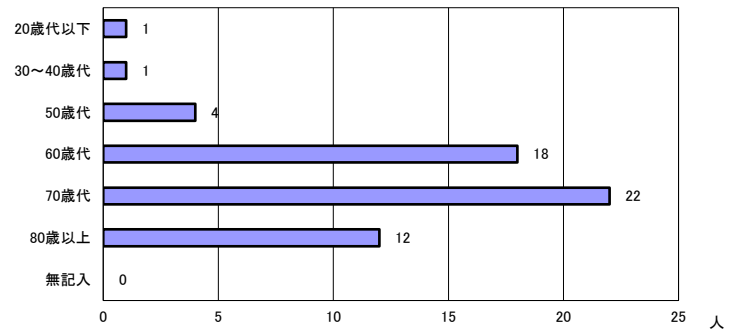
印象“悪かった”

印象“無記入”

色々なセンサーがあることもわかり、かつその活用、データ処理で将来性十分な研究をされていることがわかりました。説明もわかり易くやっていただき、良く理解できました。

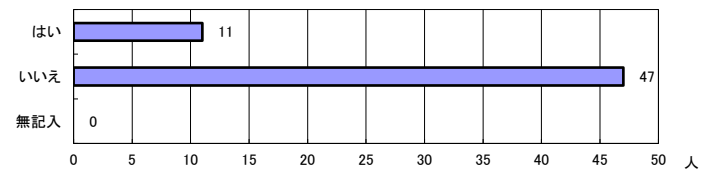
Q1. 年齢

20歳代以下	1 名	2 %
30～40歳代	1 名	2 %
50歳代	4 名	7 %
60歳代	18 名	31 %
70歳代	22 名	38 %
80歳以上	12 名	21 %
無記入	0 名	0 %



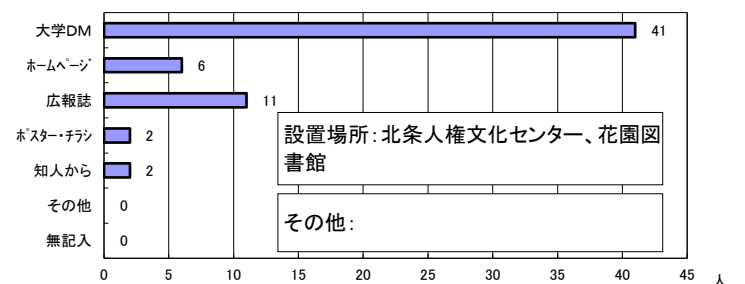
Q2. 今回初めて？

はい	11 名	19 %
いいえ	47 名	81 %
無記入	0 名	0 %



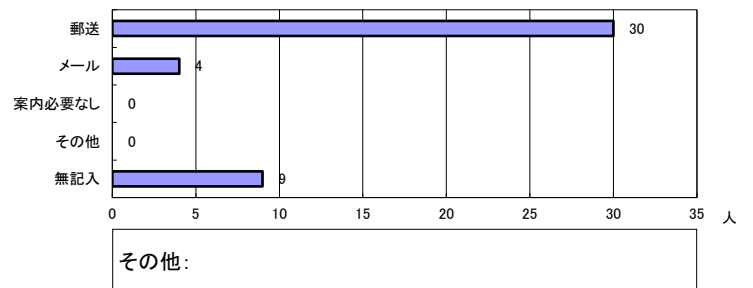
Q3. 情報源（複数回答）

大学DM ※	41 名	66 %
ホームページ	6 名	10 %
広報誌	11 名	18 %
ポスター・チラシ	2 名	3 %
知人から	2 名	3 %
その他	0 名	0 %
無記入	0 名	0 %



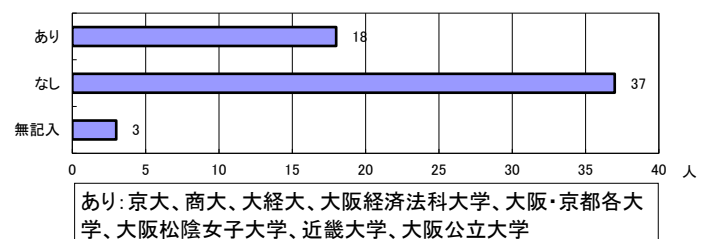
※今後希望する案内方法は？（複数回答）

郵送（今までどおり）	30 名	70 %
メール	4 名	9 %
案内の必要なし	0 名	0 %
その他	0 名	0 %
無記入	9 名	21 %



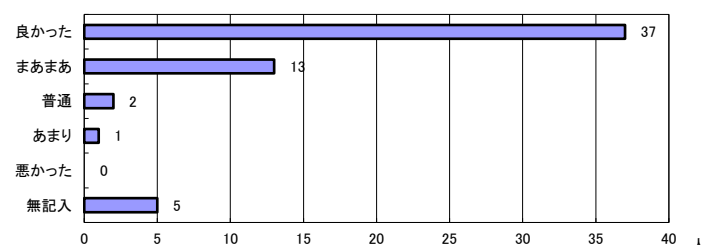
Q4. 他大学の市民講座の受講経験

あり	18 名	31 %
なし	37 名	64 %
無記入	3 名	5 %



Q5. 講座の感想

良かった	37 名	64 %
まあまあ	13 名	22 %
普通	2 名	3 %
あまり	1 名	2 %
悪かった	0 名	0 %
無記入	5 名	9 %



Q 6. 感想・意見

印象“良かった”

久しぶりに市民講座に参加しました。知識が深まり大変興味深い講座でした。今後の研究の進捗にも期待しています。

レーザー施設は大型でお金がかかる。身近に使用できないのが残念。

講義内容はよくわかった。

発想がおもしろいです。

難しかったが良かった。

Si太陽電池関係の仕事をしていました。当時は日本が最先端でしたが中国他の国に抜かれて残念です。最新の技術を生かして復活することを期待します。（太陽光発電に）

少し難しい点もありましたが、大きな成果がでている点など大変興味深かった。

バイオミメティクスというのを初めて知りました。レーザーという言葉はよく言われていますが、本当は良く知らなかったのだと思いました。

レーザー微細加工技術を用いたバイオミメティック材料の開発、シリコン太陽電池と重粒子線ガン治療装置での応用他、本学の研究内容を解り易く紹介して頂いた。有意義な内容でした。

先端技術を詳しくわかり易く話していただき良かったです。

2講座とも普段の生活では知りえない事を教えていただきました。ありがとうございました。興味深かったです。

レーザー光とは今迄ハッキリわからなかったが、今日の講義で少しわかり良かったと思います。

レーザーが生み出す未来、高齢者が少し分かる状態になってきた。

難しいことをわかりやすくくださって、ありがとうございます。

レーザー加工技術について新たな知識を得ることが出来た。

表面加工による技術の今後の展開、商品化が非常に楽しみ！！

更に技術力をアップしてほしい。どんな製品に利用できるか、応用性に難を感じた。

レーザーでできることを初めて知りました。こんないろんなことができるようで、すばらしいなあと思いました。

表面形状によって色々な性質が発生する、その加工にレーザー加工が使用されているのですね！

少し難しかったですが、生活の中に特に医療方面で今以上に開発されるといいですね。

工学用の微細加工、がん治療等、すばらしい研究をされている。力強く進めて下さい。

増々の発展期待しております。大阪産大の名前が世界に知れ渡る様、願っております。ありがとうございました。

太陽充電電池は日本が発明したのでは？なぜ中国で生産しているの？

印象“まあまあ良かった”

基礎学問をしておかなければ少し難しいが、良い講座であった。他の教授の話は殆んど聴講者を置き去りにした授業が多かった。授業を受ける側のムード作りを各先生方は考えるべきである。

バイオミメティクスに興味があったのでよかった。

レーザー微細加工技術を用いたバイオミメティック材料のすばらしさが少しわかった。

レーザー加工の分野では、今までの技術では考えつかなかった進歩の可能性がまだまだあるのだと思いました。

「レーザー」に関するテーマも1回目と同様に、もっと講座の時間を「AI」とか「レーザー」に関するテーマ等につぎ込んでいただきたい。

お話はほとんど理解できませんでしたが、産大生が学術論文を出された事、それがいかにすごい事かが先生のお言葉からヒシヒシ伝わりました。「うちの学生がうちの学生が」が何度も出てきました。続けて下さい。これからが楽しみです。私は何も応援できませんが・・・視線は世界 around the world.

学生さんたちがどれだけの時間、労力を使ったかと情熱を感じました。応援したい気持ちでいっぱいです。

印象“普通”

印象“あまり良くなかった”

タイトルに「レーザーが生み出す未来のものづくり」ということだったので、もう少しものづくりの事例が出てくるのかな？と思っていたのですが、想像以上に物理的な、数値や数式など専門的な単語が多くて難しかったです。バイオミメティクスの話は、私たちの身近なものを事例として挙げてくださっていたので、面白かったです。

印象“悪かった”

印象“無記入”

次回、成果を楽しみにしています。

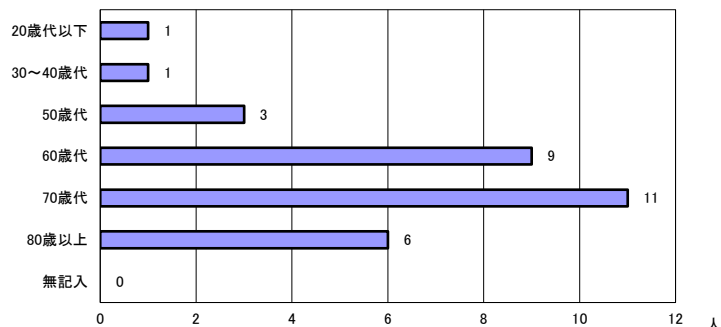
難しかった。学生さんに期待します。頑張れ。

太陽エネルギーの応用と説明ほしい。

興味深い点 ・バイオミメティクス ・工学技術に活かすこと ・レーザーの応用技術 ・ナノドット構造
・学生の研究論文や成果、努力 専門的な内容は理解するのが難しかった。

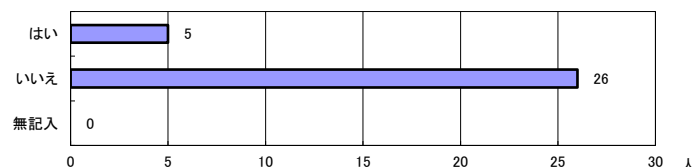
Q1. 年齢

20歳代以下	1 名	3 %
30～40歳代	1 名	3 %
50歳代	3 名	10 %
60歳代	9 名	29 %
70歳代	11 名	35 %
80歳以上	6 名	19 %
無記入	0 名	0 %



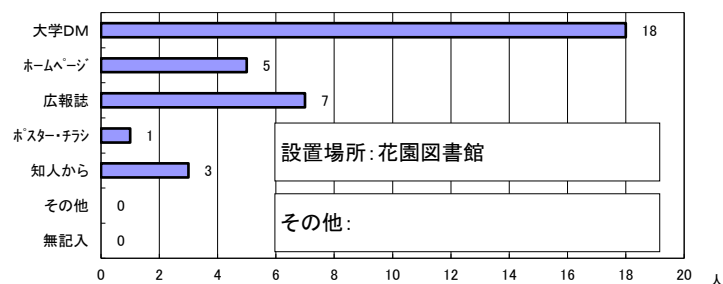
Q2. 今回初めて？

はい	5 名	16 %
いいえ	26 名	84 %
無記入	0 名	0 %



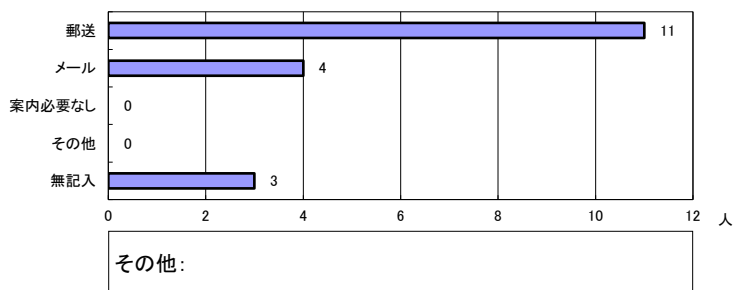
Q3. 情報源（複数回答）

大学DM ※	18 名	53 %
ホームページ	5 名	15 %
広報誌	7 名	21 %
ポスター・チラシ	1 名	3 %
知人から	3 名	9 %
その他	0 名	0 %
無記入	0 名	0 %



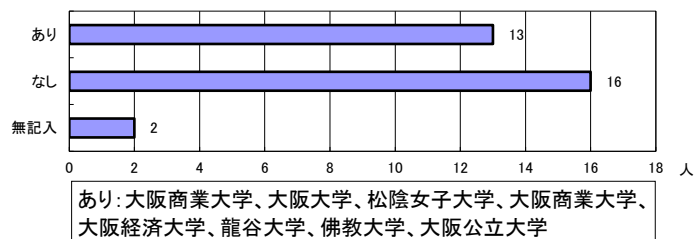
※今後希望する案内方法は？（複数回答）

郵送（今までどおり）	11 名	61 %
メール	4 名	22 %
案内の必要なし	0 名	0 %
その他	0 名	0 %
無記入	3 名	17 %



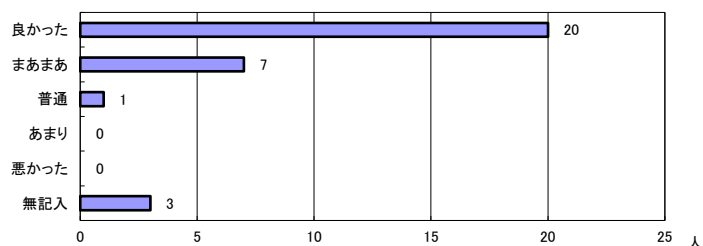
Q4. 他大学の市民講座の受講経験

あり	13 名	42 %
なし	16 名	52 %
無記入	2 名	6 %



Q5. 講座の感想

良かった	20 名	65 %
まあまあ	7 名	23 %
普通	1 名	3 %
あまり	0 名	0 %
悪かった	0 名	0 %
無記入	3 名	10 %



Q 6. 感想・意見

印象“良かった”

今期の講座で一番受けたかったのが3Dプリンターについてのこの講座です。最終日の1時間のみ運命を感じる。3Dプリンター、私もやってみたい！

今回のシリーズは6/13から受講しましたが、大変参考になりました。来年度は最初の講座から受講したいと思います。誠にありがとうございました。MITの講座情報は参考になりました。一度覗いてみます。

ここに来なければ聞けないお話をありがとうございました。わかりやすく説明していただきました。

とてもよかったです。今の時代、ついていけない気がして、何事もやってみたい、知りたい事ばかり。

デジタルなものづくりについて、考え方をわかり易く説明いただき、具体例まで紹介していただき、興味をもつことができました。何か作ってみたいと思いました。

すごい良かった。

今日はAIを使ってかなりの物づくりができることを教わったが、残念ながら年をとりすぎて興味がわからない。

AIでCADの手助けができたり、画像1枚で3Dモデルが作れたりとかするの知りませんでした。AIは文章だけでなく機械のものづくりまで進んでるのがすごいですね。事例や実際どのように作られるのかなど、たくさん紹介していただけて大変面白かったです。ありがとうございました

今年13講座の内、9講座受講いたしました。大変勉強になりました。個人的に興味を引き、帰宅後、自治会長にも内容伝えましたのは「防災」についてです。隣の寺川団地住人ですので、ありがたい内容でした。本年はありがとうございました。来年も宜しくお願いします。

AIができることを知ることができて、とても驚いたし希望がもてました。AIに挑戦していきたいなと思いました。

雨の中走ってきてよかった。モノ市のぞいてみます。

良く解った。

デジタルなもの作りや、そうでないもの作りをしてみたくくなりました。

3Dプリンターについての知識を得ることが出来た。

本当に時代の変化を実感しています。良い使い方をされる事を望むばかりです。つつい武器や負の考え方を持つの達への知も進んでほしいと思った。

印象“まあまあ良かった”

3Dでモデル作っている会社の同僚がいるが、今まで自分はできないと思っていたが、ちょっとやってみようかなと思った。

ものづくりが身近にできる、これからの時代にあった仕方を創造できる、ワクワクする世界だと感じました。

3Dプリンターに興味があった。わかりやすい説明だった。

リタイアをして20年、その10年程前（今から30年前）、社内の片スミでCADを使用する人々がいましたが、あれから30年、まったく触れる事もなく、忘れていました。

印象“普通”

印象“あまり良くなかった”

印象“悪かった”

印象“無記入”

非常におもしろい話でした。

発 行 日 2026 年 7 月 28 日
発 行 大阪産業大学
 社会連携・研究推進センター 産業研究所事務室
 (社会連携・研究推進センター長 後藤彰彦)
 〒574-8530
 大阪府大東市中垣内 3-1-1
 Tel : 072-875-3001 FAX : 072-875-6551